

開示書類等提出者向け

# 現行 EDINET から次世代 EDINET への主な変更点

金融庁 総務企画局 企業開示課



- ◆Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ◆Microsoft、Excel、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。
- ◆Adobe® product screen shots reprinted with permission from Adobe Systems Incorporated.
- ◆Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator は、Adobe Systems Incorporated の登録商標又は商標です。
- ◆その他、記載されている会社名及び製品名は、各社の登録商標又は商標です。
- ◆本文中では、TM、®、©は省略しています。
- ◆本文及び添付のデータファイルで題材として使用している個人名、団体名、商品名、ロゴ、連絡先、メールアドレス、場所、出来事等は、全て架空のものです。実在するものとは一切関係ありません。
- ◆本書は、構成、文章、プログラム、画像、データ等の全てにおいて、著作権法上の保護を受けています。

# はじめに

本テキストは、2013年度から稼働開始を予定している次世代 EDINET について利用方法の変更点を中心に、開示書類等提出者及び開示情報利用者向けに記載した研修テキストです。

---

## ▼ 本テキストの構成について

本テキストは、3章構成になっています。1章では、次世代 EDINET 全体の変更点についての概要及びシステム利用時の注意点について説明しています。書類閲覧時の変更点の概要は2章で説明しています。3章では、書類提出時の変更点について説明しています。2章以降を読む前に、1章を御一読ください。

---

## ▼ 本テキスト内の表記について

本テキスト内に記載されている記号は、次のような意味があります。

<b>Point</b>	操作に関連するポイントについて説明します。
「 」	画面項目又は入力内容等を表します。例:「対象」
【 】	ボタン名を指します。例:【検索】ボタンをクリックします。
[ ]	画面名を指します。例:[書類簡易検索画面]が表示されます。

---

**▼ 製品名の記載について**

---

本テキストでは、次の略称を使用しています。

名称	略称
Windows 7	Windows7 又は Windows
Windows Vista	Windows Vista 又は Windows
Windows XP	Windows XP 又は Windows
Microsoft Office Excel 2010	Excel2010 又は Excel
Microsoft Office Excel 2007	Excel 2007 又は Excel
Microsoft Office Excel 2003	Excel 2003 又は Excel
Windows Internet Explorer 9	Internet Explorer 9 又は Internet Explorer
Windows Internet Explorer 8	Internet Explorer 8 又は Internet Explorer
Windows Internet Explorer 7	Internet Explorer 7 又は Internet Explorer
Windows Internet Explorer 6	Internet Explorer 6 又は Internet Explorer
Adobe Reader 11	Adobe Reader 11 又は Adobe Reader
Adobe Reader 10	Adobe Reader 10 又は Adobe Reader
Adobe Reader 9	Adobe Reader 9 又は Adobe Reader

# Contents

## 1 章 次世代 EDINET の変更点について(全体) 1

1-1 次世代 EDINET の変更点	2
1-1-1 EDINET と XBRL .....	5
1-2 次世代 EDINET 移行スケジュール	7
1-2-1 次世代 EDINET タクソノミの適用開始時期について .....	8
1-3 東証 33 業種の導入	9
1-4 証券コード、通称登録機能の追加	10
1-4-1 通称の追加、変更について .....	11
1-5 マニュアル体系	12

## 2 章 書類閲覧時の変更点 15

2-1 書類閲覧時の変更点	16
2-2 メニューバーの常駐化	17
2-3 書類簡易検索の導入と書類詳細検索の高度化	18
2-3-1 書類簡易検索の導入 .....	24
2-3-2 書類詳細検索の高度化 .....	27
2-3-3 全文検索の高度化 .....	29
2-3-4 公告閲覧の一覧化 .....	30
2-4 書類比較の導入	31
2-5 ダウンロード機能の高度化	41

2-5-1	XBRL 一括ダウンロードの高度化 .....	41
2-5-2	EDINET タクソノミのダウンロード単位の変更 .....	42
2-5-3	XBRL から CSV への変換ツールの導入 .....	43

## 3 章 書類提出時の変更点 45

### 3-1 提出書類作成時の変更点 46

3-1-1	XBRL 対象範囲の拡大 .....	47
3-1-2	フォルダ構成の変更 .....	50
3-1-3	インライン XBRL の採用 .....	52
3-1-4	タグ付けの変更 .....	53
3-1-5	該当なし要素の採用 .....	55
3-1-6	ディメンションの採用 .....	56
3-1-7	マニフェストファイルの採用 .....	59
3-1-8	DEI の採用 .....	60
3-1-9	訂正報告時の提出ファイルの変更 .....	61
3-1-10	IFRS 又は米国基準での提出方法の変更 .....	64
3-1-11	大量保有報告書のデータ形式の変更 .....	65
3-1-12	大量保有報告書以外の XBRL 作成ツールの導入 .....	67

### 3-2 次世代 EDINET への書類提出時の変更点 69

3-2-1	提出書類様式選択画面の変更点 .....	70
3-2-2	提出書類詳細画面の変更点 .....	71
3-2-3	書類状況の表示内容の拡充 .....	72
3-2-4	通称の追加登録機能の新設 .....	78
3-2-5	その他の変更点 .....	81

## 付録 83

### 付録 1 XBRL 対象様式 84

# 1 章 次世代 EDINET の変更 点について(全体)

次世代 EDINET の変更点について説明します。

# 1-1 次世代 EDINET の変更点

次世代 EDINET の全体概要について説明します。

 EDINET Electronic Disclosure for Investors' Network

## 1-1 次世代EDINETの変更点について(全体)

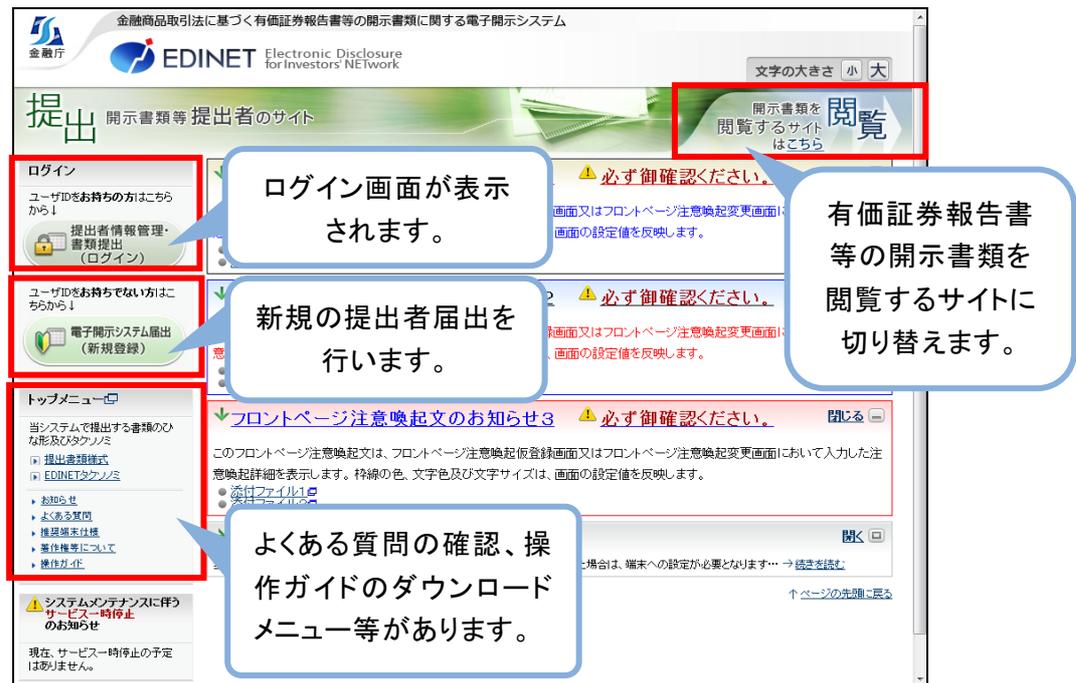
本節では、次の内容について説明します。

1. 次世代EDINETの概要
2. 次世代EDINET移行スケジュール
3. 東証33業種の導入
4. 証券コードの追加、通称登録機能の追加
5. マニュアル体系

開示書類等提出者向け 説明会資料

次世代 EDINET では、現行 EDINET と同様に「開示情報利用者」のサイトと「開示書類等提出者」のサイトが用意されています。どちらのサイトも、全ての画面のデザインが大きく変更されています。

画面デザインの例として、開示書類等提出者用のサイトのトップ画面のイメージは、次のとおりです。



開示書類等提出者用のサイトにアクセスする URL は次のとおりです。

### 次世代EDINETのURL

<http://submit.edinet-fsa.go.jp/>

### Point 提出書類様式のダウンロード

現行 EDINET では、提出書類様式を開示情報利用者のサイトからダウンロードする必要がありましたが、次世代 EDINET では、開示書類等提出者のサイトからダウンロードできるようになります。

また、開示情報利用者用のサイトのトップ画面のイメージは、次のとおりです。

The screenshot shows the Japanese version of the EDINET website. A red box highlights the top navigation bar with buttons for 'トップページ', '書類検索', '公告閲覧', '書類比較', and 'ダウンロード'. Another red box highlights the 'English' language selector in the top right corner. A blue callout bubble points to the 'よくある質問' (FAQ) link in the left sidebar, stating: 'よくある質問の確認、操作ガイドのダウンロードメニュー等があります。' (There are menus for checking frequently asked questions, downloading operation guides, etc.). Another blue callout bubble points to the '重要なお知らせ' (Important Notice) section, stating: 'メニューバーが追加されました。' (The menu bar has been added).

開示情報利用者用のサイトにアクセスする URL は次のとおりです。

**次世代EDINETのURL**

http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/

**Point** 英語サイトについて

開示情報利用者用の次世代 EDINET のホームページでは、英語による検索も可能となります。

The screenshot shows the English version of the EDINET website. The top navigation bar includes 'Top Page', 'Document Search', and 'Download'. The 'DOCUMENT SEARCH' section is active, showing options for 'Simple document search' and 'Detailed document search'. The language selector in the top right is set to 'Japanese', and the font size is set to 'S'.

## 1-1-1 EDINET と XBRL

現行 EDINET では、開示された財務情報の高度な分析及び加工を可能とするため、一部の様式について XBRL が導入されています。

現行 EDINET における XBRL 対象範囲は財務諸表本表に限られていますが、次世代 EDINET では、XBRL 対象書類及び XBRL 対象範囲が拡大されます。対象となる様式は 35 様式から 62 様式となり、提出書類全体を XBRL で作成するもの、財務諸表本表のみを XBRL で作成するものがあります。次世代 EDINET における XBRL 対象範囲については、「付録 1 XBRL 対象様式」(p. 84)を参照してください。



### 1-1-1 EDINETとXBRL

次世代EDINETでは、XBRL対象範囲が拡大されます。

# 62

## 様式

**財務諸表本表  
を含む**  


**財務諸表本表  
を含まない**

**財務諸表本表  
のみ**  


■ XBRL対象範囲

開示書類等提出者向け説明会資料

62 様式の内訳は、次のとおりです。財務諸表のみ XBRL 対象となる 18 様式は、財務諸表本表以外の部分は従来どおり HTML 形式で作成します。



## 1-1-1 XBRL対象範囲の拡大

62様式の内訳は次のとおりです。

# 27

様式

**様式全体を  
XBRL対象  
(財務諸表本表  
は含まない)**

# 17

様式

**様式全体を  
XBRL対象  
(財務諸表本表  
を含む)**

# 18

様式

**財務諸表本表  
のみ  
XBRL対象**

開示書類等提出者向け説明会資料

**Point** 62 様式以外の様式

XBRL 対象外様式は、従来どおり HTML 形式でファイルを作成し、提出します。  
 なお、次世代 EDINET では HTML4.01 に加え、XHTML1.1 を利用できるようになっています。

**Point** コンピュータ環境について

次世代 EDINET では、次の標準的なパソコンで動作を確認しています。

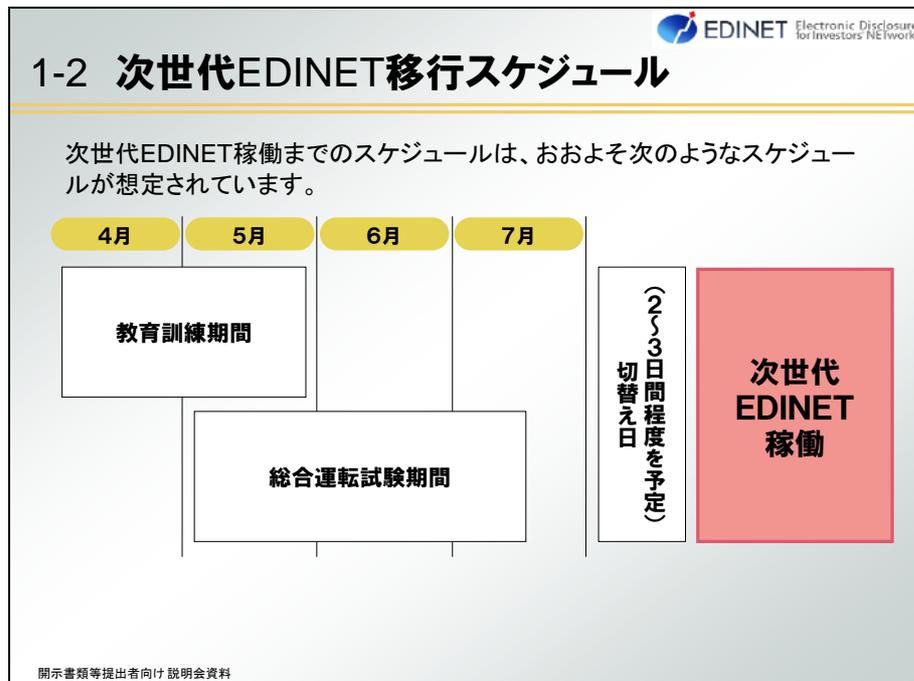
利用種別	OS	Web ブラウザ			その他
		Internet Explorer9	Internet Explorer8	Internet Explorer7	
開示書類等提出者	Windows7 SP1(64bit)	○	○	—	JRE Version7 Update7
	WindowsVista SP2	○	○	○	
	WindowsXP SP3	—	○	○	
開示情報利用者	Windows7 SP1(64bit)	○	○	—	Firefox17 も可
	WindowsVista SP2	○	○	○	
	WindowsXP SP3	—	○	○	

※次世代 EDINET 稼働開始時におけるコンピュータ環境は、変更される場合があります。

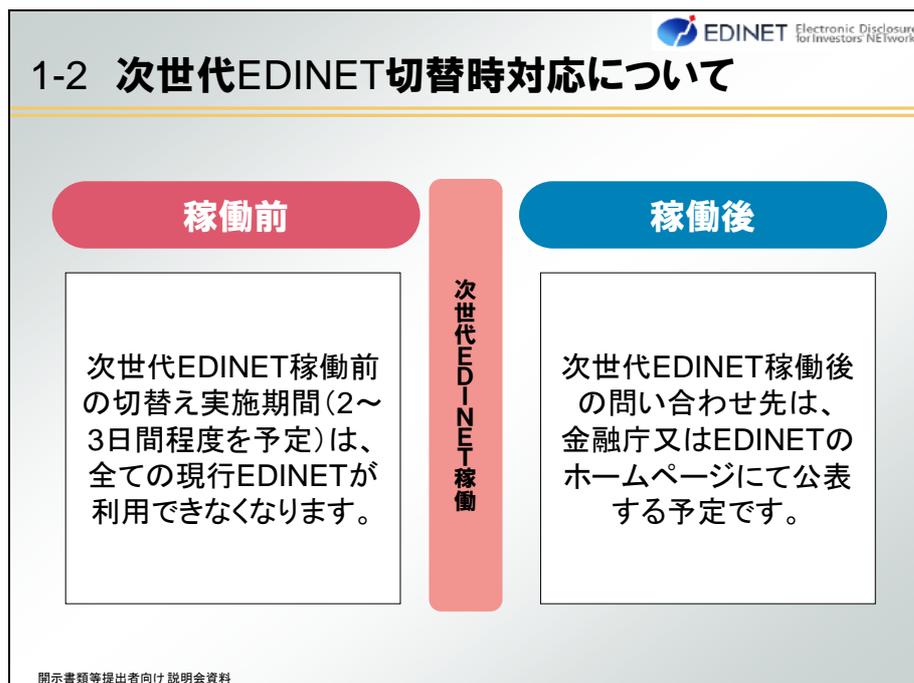
※JRE とは、Java 言語で開発されたソフトウェアを実行するために必要なソフトウェアのことです。

# 1-2 次世代 EDINET 移行スケジュール

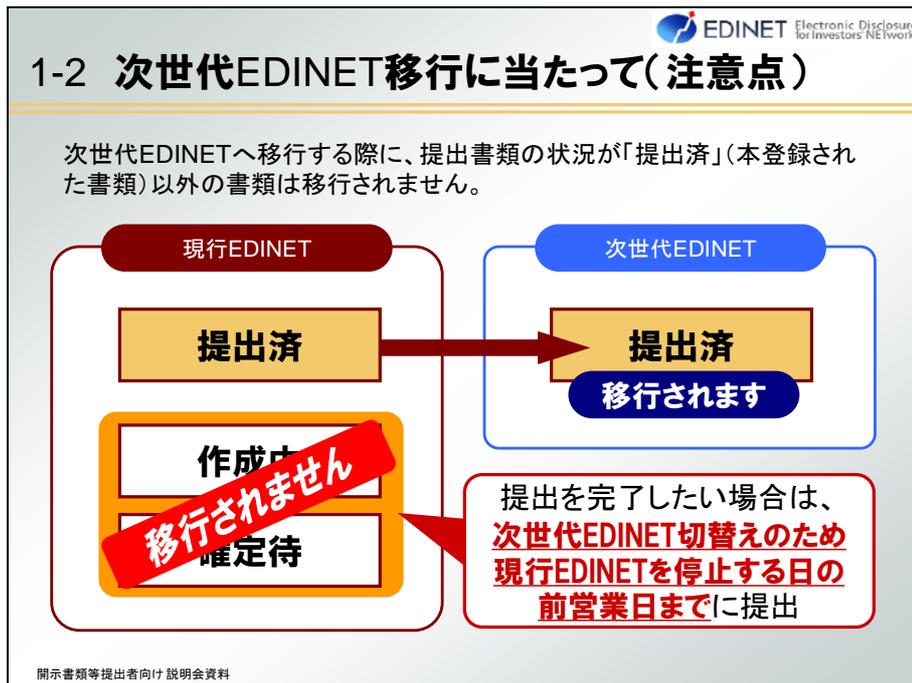
次世代 EDINET の稼働開始は 2013 年度中に予定されており、次の図のようなスケジュールが想定されています。次世代 EDINET の稼働開始日は、総合運転試験の結果を踏まえて決定します。



次世代 EDINET 切替時は、全ての現行 EDINET が利用できなくなります。



移行に当たって、開示書類等提出者が注意すべき事柄は次のとおりです。



現行 EDINET で、本登録されなかった提出書類（仮登録までの状態）は次世代 EDINET に移行されません。

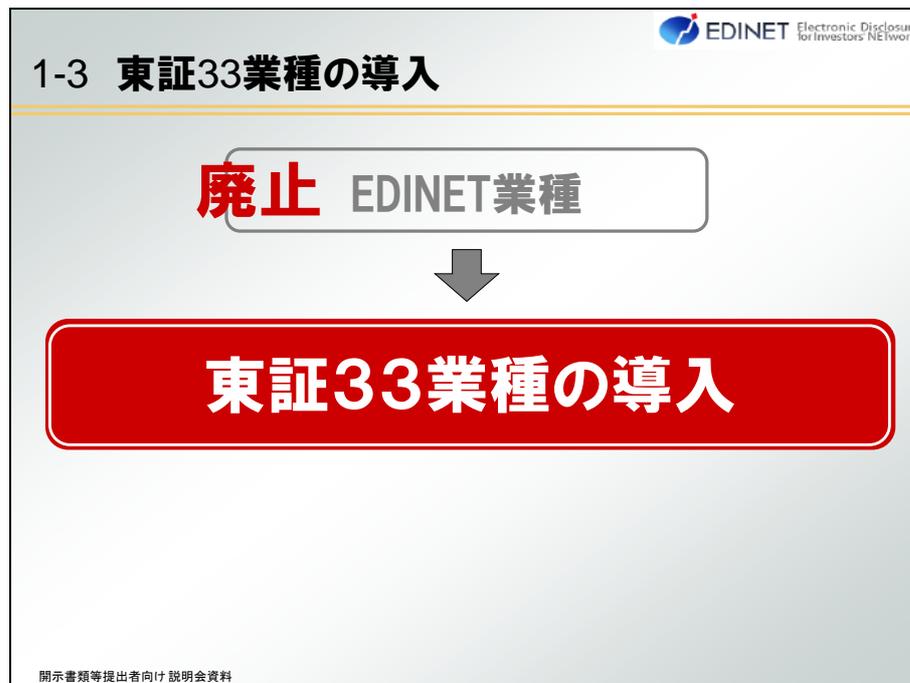
#### 1-2-1 次世代 EDINET タクソミの適用開始時期について

「1-1-1 EDINET と XBRL」にあるとおり、XBRL 対象範囲の拡大に伴い、次世代 EDINET タクソミが公表される予定です。次世代 EDINET タクソミの公表は、総合運転試験の結果を踏まえ、平成 25 年 8 月～9 月頃を予定しています。

また、次世代 EDINET タクソミの適用開始時期及びその詳細の公表は、次世代 EDINET タクソミの公表後に予定しています。詳しくは、金融庁ホームページにて確認してください。

## 1-3 東証 33 業種の導入

次世代 EDINET 移行に当たって、EDINET 業種が廃止されます。各開示書類等提出者の業種は、総務省統計局の「日本標準産業分類」で定める 33 業種（東京証券取引所では「業種別株価指数」に用いられている 33 業種）に分類します（以下「東証 33 業種」という。）。

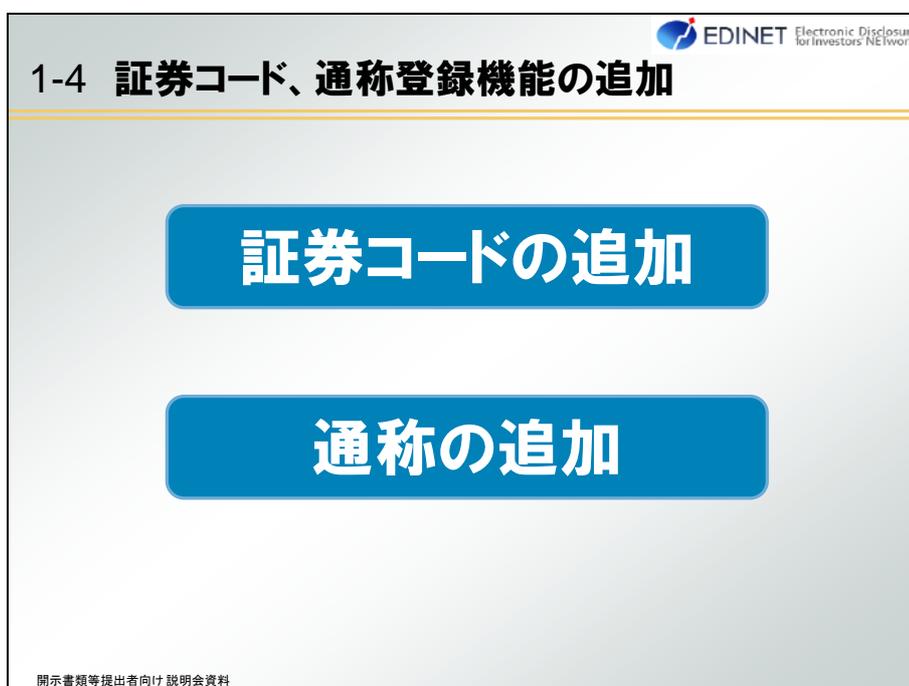


## 1-4 証券コード、通称登録機能の追加

次世代 EDINET への移行に当たって、新たに証券コード及び通称を登録する機能が追加されます。

### **Point** 通称とは

正式名称ではなく、一般的に広く利用されている呼称等のことです。例えば、金融庁は英語名を「Financial Services Agency」といい、その頭文字を取って通称は「FSA」と呼ばれています。通称を登録すると、開示情報利用者は、書類検索において登録された通称を検索条件(キーワード)として、書類検索できるようになります(現行 EDINET では、正式名称でなければ検索できませんでした)。なお、登録された通称は、その他の目的で用いられたり、表示されたりするものではありません。



開示情報利用者は、提出書類検索時に証券コード又は通称を使用して検索できるようになります。

東証 33 業種の導入、証券コード及び通称の登録機能の追加に当たって、次世代 EDINET 稼働前に「東証 33 業種」、「証券コード」及び「通称」については、開示書類等提出者に提出していただきます。提出方法の詳細は、後日、現行 EDINET のホームページにて御案内する予定です。

※次世代 EDINET 稼働後に、提出者業種及び証券コードの変更が発生した場合は、財務(支)局に連絡してください。

## 1-4-1 通称の追加、変更について

次世代 EDINET の稼働後は、開示書類等提出者自身で通称を追加又は変更できます。

通称の追加又は変更ができる提出者種別は、「内国会社」及び「外国会社」です。通称は10件まで登録できます。

追加又は変更方法については、本テキストの「3章 書類提出時の変更点 3-2-4 通称の追加登録機能の新設」(p.78)で説明します。

 EDINET Electronic Disclosure for Investors Network

### 1-4-1 通称の登録

次世代EDINETでは、提出書類を検索する場合に、会社名だけではなく、通称での検索が可能となります。  
通称の登録は、開示書類等提出者自身で登録してください。操作手順は後ほど説明します。

開示株式会社


有価証券  
報告書  
.....

キーワード(登記社名)  
**開示株式会社**

キーワード(通称社名)  
**KAIJI**

開示書類等提出者自身で登録

検索

検索

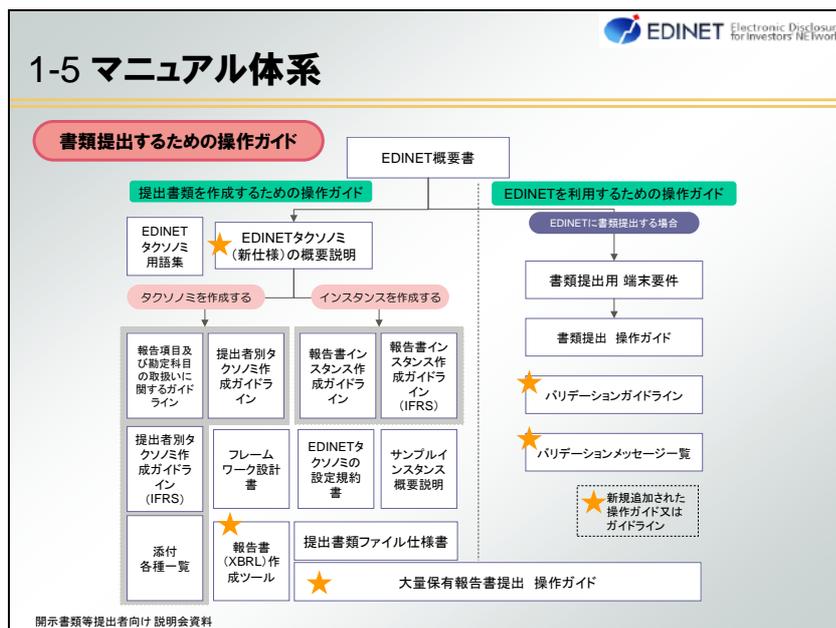
開示書類等提出者向け説明会資料

# 1-5 マニュアル体系

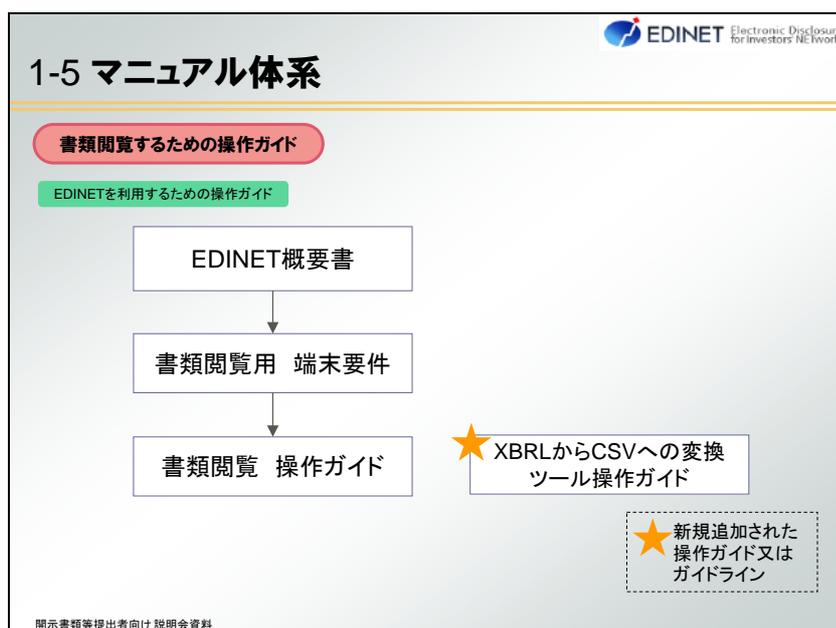
次世代 EDINET のマニュアル体系は、大きく分けて、提出書類を作成するためのガイドラインと EDINET で操作するための操作ガイドとがあります。

初めて EDINET を利用する方は、EDINET 概要書を御覧の上、各作業内容に応じて必要なガイドライン及び操作ガイドをダウンロードしてください。

各種操作ガイドは、総合運転試験期間に暫定版を、次世代 EDINET 稼働後には正式版をそれぞれ公表する予定です。



※マニュアル名の「EDINET」とは、次世代 EDINET をいいます。

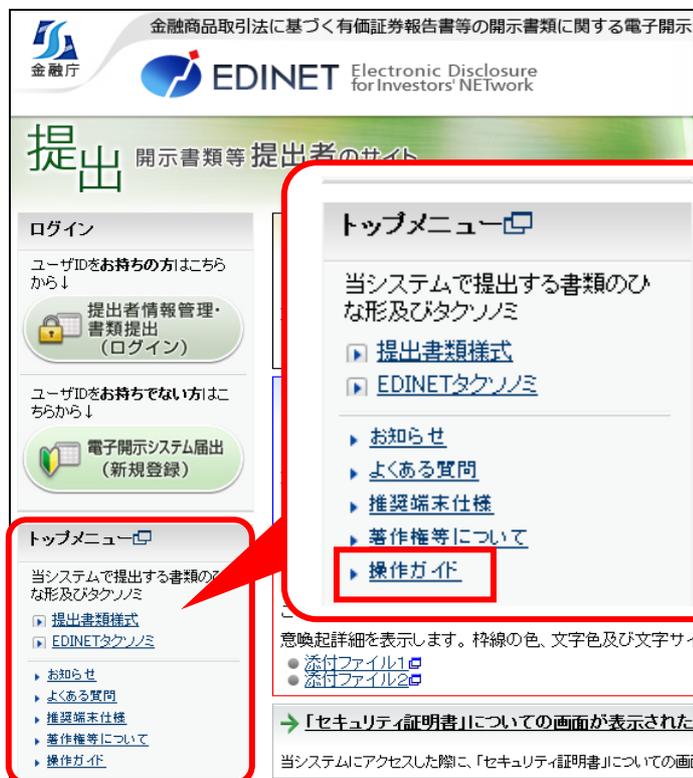


操作ガイドは、[有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト] 又は [開示書類等提出者のサイト] のトップページからダウンロードできます。

[有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト]



[開示書類等提出者のサイト]





## 2 章 書類閲覧時の変更点

---

書類閲覧時の変更点について説明します。

## 2-1 書類閲覧時の変更点

書類閲覧時の変更点について説明します。



**2-1 書類閲覧時の変更点について**

本節では、次の内容について説明します。

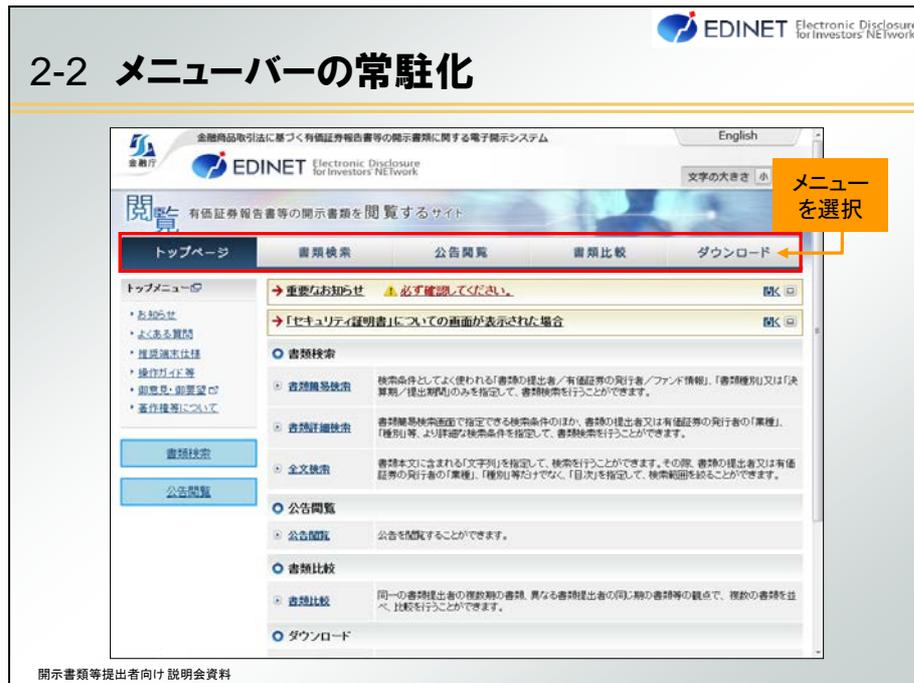
1. メニューバーの常駐化
2. 書類簡易検索の導入と書類詳細検索の高度化
3. 書類比較の導入
4. ダウンロード機能の高度化

開示書類等提出者向け 説明会資料

## 2-2 メニューバーの常駐化

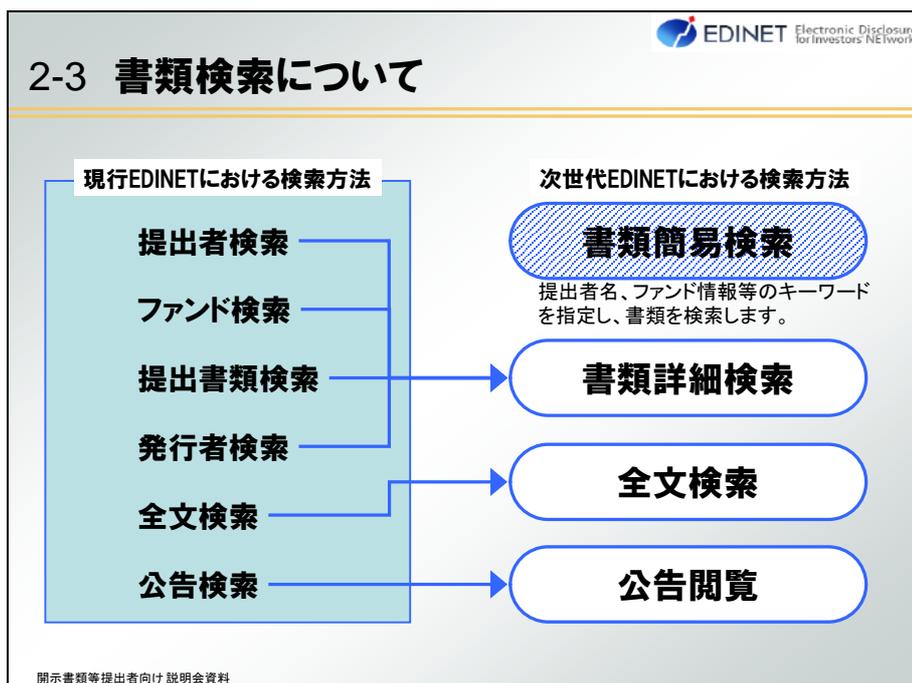
開示情報利用者のサイトは、画面デザインが一新されました。

トップメニューから利用するメニューを選択します。画面上部にはメニューバーが常に表示されていますので、メニューを切り替えるために、トップページへ戻る必要はありません。



## 2-3 書類簡易検索の導入と書類詳細検索の高度化

次世代 EDINET では、新たに「書類簡易検索」が追加されます。また、現行 EDINET での書類検索方法が「書類詳細検索」、「全文検索」及び「公告閲覧」の三つの方法に集約されます。



書類簡易検索と書類詳細検索とでは、指定できる検索条件が異なります。指定可能な検索条件は、次のとおりです。

2-3 書類検索方法の変更点		EDINET Electronic Disclosure for Investors' Network	
次の検索条件を指定できます。			
		<b>簡易</b> 簡易検索で指定できる検索条件	<b>詳細</b> 詳細検索で指定できる検索条件
検索条件	検索方法		
書類提出者情報を指定	・提出者EDINETコード、提出者名称(通称含む)	簡易	詳細
	・提出者業種 ・提出者種別		詳細
有価証券発行者情報を指定	・発行者EDINETコード、発行者名	簡易	詳細
	・発行者業種		詳細
ファンド情報を指定	・ファンドコード、ファンド名称	簡易	詳細
	・特定有価証券区分		詳細
書類種別を指定	・書類種別	簡易	詳細 ※一部のみ
決算期/提出期間を指定	・決算期 ・提出期間	簡易	詳細

開示書類等提出者向け説明会資料

「書類簡易検索」、「書類詳細検索」及び「全文検索」は、いずれの方法でも検索の仕方が同じです。

検索条件の指定は、画面左側のメニューから検索方法を選択し、画面右側で検索条件を指定し、検索します。次の図は、書類簡易検索の検索条件指定画面です。

2-3 閲覧画面について(検索条件の指定)		EDINET Electronic Disclosure for Investors' Network	
(1) 書類検索方法を選択		(2) 書類検索条件を指定	

開示書類等提出者向け説明会資料

### Point 検索条件指定時の変更点

次世代 EDINET では、検索条件指定時に様々な条件指定が可能となります。  
 書類簡易検索及び全文検索では、次の表のように複数条件を組み合わせる「AND 検索」、「OR 検索」及び「排他検索」が可能です。

種類	意味	入力例	入力例の意味と検索結果例	検索方法
AND 検索	複数のキーワードを指定し、その全てが含まれる書類又は文字列を検索します。	電気 工業 ----- キーワードの間をスペースで区切る。	「電気」及び「工業」の両方を含む文字列を検索。 【検索結果例】 EDINET電気工業株式会社	簡易 詳細※ 全文
OR 検索	複数のキーワードを指定し、そのいずれかが含まれる書類、又は文字列を検索します。	電気 OR 工業 ----- 複数のキーワードの間に「OR」を入力。	「電気」又は「工業」のいずれかを含む文字列を検索。 【検索結果例】 ・ EDINET電気株式会社 ・ EDINET工業株式会社 ・ EDINET電気工業株式会社	簡易 全文
排他検索	あるキーワードが含まれている書類又は文字列を検索結果から除いて検索します。	電気 -工業 ----- 除きたいキーワードの前に「-」を入力。	「電気」を含み、「工業」を含まない文字列を検索。 【検索結果例】 EDINET電気株式会社	簡易 全文

※コード(EDINETコード、ファンドコード又は証券コード)の AND 条件は指定不可。

また、書類簡易検索画面では、「提出者／発行者／ファンド」欄に、コード(EDINETコード、ファンドコード、証券コード)、名称(ヨミガナ、英語名称を含みます。)等を指定できます。

コードによる検索は、次の図のように、検索条件の先頭に更に「接頭辞」を付けて検索条件を限定できます。

コードによる検索		検索条件	検索結果
<b>e:</b>	e:の後に指定されたEDINETコードの提出者を検索	e:99	EDINETコードに「99」を含む提出書類を検索。
<b>g:</b>	g:の後に指定されたファンドコードの提出者を検索	g:99	ファンドコードに「99」を含む提出書類を検索。
<b>c:</b>	c:の後に指定された証券コードの提出者を検索	c:99	証券コードに「99」を含む提出書類を検索。

名称を検索条件とする場合は、次の図のような「接頭辞」を利用できます。

名称による検索		検索条件	検索結果
<b>s:</b>	s:の後に指定されたキーワードを提出者名又は通称に含む提出書類を検索	s:ABC	提出者名又は通称に「ABC」を含む提出書類を検索。
<b>i:</b>	i:の後に指定されたキーワードを発行者名又は通称に含む提出書類を検索	i:ABC	発行者名又は通称に「ABC」を含む提出書類を検索。
<b>f:</b>	f:の後に指定されたキーワードをファンド名又は通称に含む提出書類を検索	f:ABC	ファンド名又は通称に「ABC」を含む提出書類を検索。

上記の接頭辞は一部です。検索条件指定についての詳細は、『書類閲覧 操作ガイド』を確認してください。

検索条件を指定する場合、「提出者業種」は東証 33 業種で検索できます。また、「提出者証券コード」の指定、「提出者名称」に「通称」を指定しての検索もできます。次の図は、書類詳細検索の検索条件指定画面です。

### 2-3 閲覧画面について(検索条件の指定)

The screenshot shows the EDINET search interface with the following search criteria options:

- XEPLを含む書類のみを検索対象とする
- 書類提出者情報を指定する
- 書類の提出者の情報を指定します。ファンドの提出書類に 대해서는, ファンドの運用法人を指定
- 提出者EDINETコード
- 提出者証券コード
- 提出者名称
- 提出者業種
  - 全業種
  - 全業種(金融)
  - 水産・農林業
  - 鉱業
  - 食品
  - 繊維
  - パルプ・紙
  - 化学
  - 医薬品
  - 石油・石炭製品
  - ガラス・土石製品
  - 鉄鋼
  - 非鉄金属
  - 金属製品
  - 機械
  - 電気機器
  - 輸送用機器
  - 精密機器
  - その他製品
  - 電気・ガス業
  - 陸運業
  - 海運業
  - 空運業
  - 倉庫・運輸関連
  - 情報・通信業
  - 卸売業
  - 小売業
  - 銀行業
  - 証券・商品先物取引業
  - 保険業
  - その他金融業
  - 不動産業
  - サービス業
  - 社会福祉法人
  - 学校法人
  - 外国法人・組合
  - 外国政府等
  - 個人(組合発行者を除く)
  - 個人(非居住者)(組合発行者を除く)
  - 内国法人・組合(有価証券報告書の提出義務者以外)
  - 外国法人・組合(有価証券報告書の提出義務者以外)
- 提出者種別
  - 内国法人・組合
  - 外国法人・組合
  - 外国政府等
  - 個人(組合発行者を除く)
  - 個人(非居住者)(組合発行者を除く)
  - 内国法人・組合(有価証券報告書の提出義務者以外)
  - 外国法人・組合(有価証券報告書の提出義務者以外)

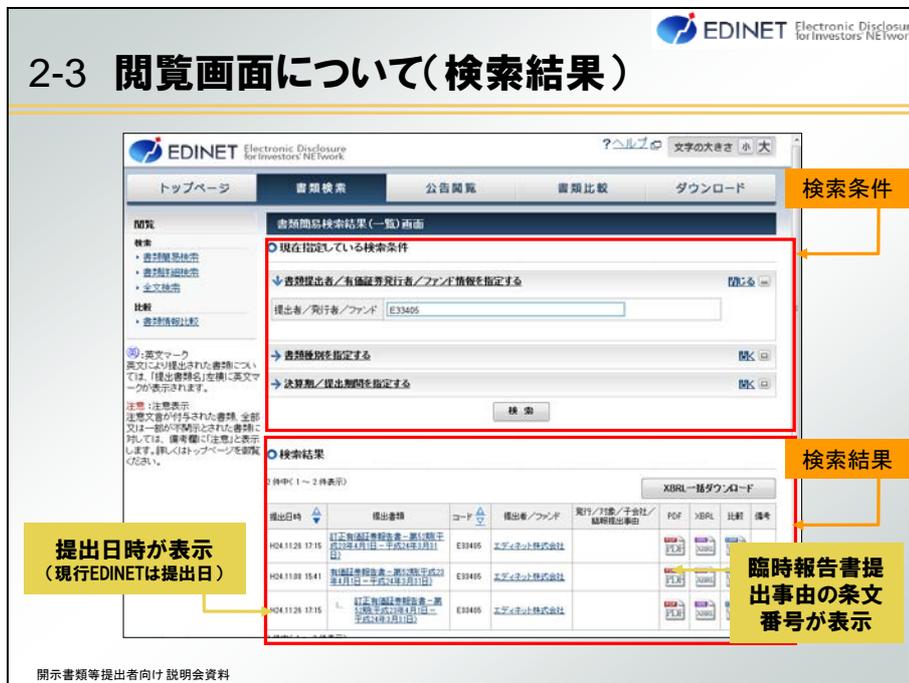
Annotations in the image:

- 提出者証券コードの指定も可 (Yellow box pointing to the '提出者証券コード' field)
- 提出者名称に、通称の指定も可 (Yellow box pointing to the '提出者名称' field)
- 東証33業種を指定 (EDINET業種は廃止) (Yellow box pointing to the '提出者業種' list)

開示書類等提出者向け説明会資料

検索結果の一覧画面は、画面上側に検索条件、画面下側に検索結果がそれぞれ表示されます。検索条件は、画面上側の「現在指定している検索条件」でいつでも変更し再検索できます。

次の図は、書類簡易検索の検索結果一覧画面です。



**Point** 検索結果の変更点

「提出日時」が表示され、提出された日付及び時間を確認できるようになります。また、臨時報告書が提出された場合は、臨時報告書提出事由が表示されるようになります。

また、次の図のように関連書類が提出されている場合は、階層構造で関連する書類名が表示されます(現行 EDINET では関連書類がある提出書類には「+」アイコンが表示され、「+」をクリックすると関連する書類名が表示されます。)

提出日時	提出書類	コード	提出者/ファン
H24.11.08 15:41	<a href="#">有価証券報告書 - 第52期(平成23年4月1日 - 平成24年3月31日)</a>	E33405	<a href="#">エディネット株式</a>
H24.11.26 17:15	<a href="#">訂正有価証券報告書 - 第52期(平成23年4月1日 - 平成24年3月31日)</a>	E33405	<a href="#">エディネット株式</a>

現行 EDINET では財務諸表本表のみが XBRL 形式でしたが、次世代 EDINET では、財務諸表本表以外も XBRL 形式で提出される書類があるため、ダウンロードできる XBRL データの内容が異なります。

提出書類	コード 	提出者/ファンド	発行/対象/子会社/臨時提出事由	PDF 	<b>XBRL </b>	比較 	備考
<a href="#">有価証券報告書 第52期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)</a>	E33405	エディネット株式会社			<b></b>		

### **Point** 検索結果(一覧)画面に表示されるアイコンについて

検索結果(一覧)画面には、次のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	EDINET で変換した PDF ファイルが表示されます。
	提出書類が XBRL 又は XBRL を含む場合に表示され、XBRL データをダウンロードできます。
	書類比較対象として選択できる提出書類の場合に表示されます。

## 2-3-1 書類簡易検索の導入

書類簡易検索の操作手順を説明します。

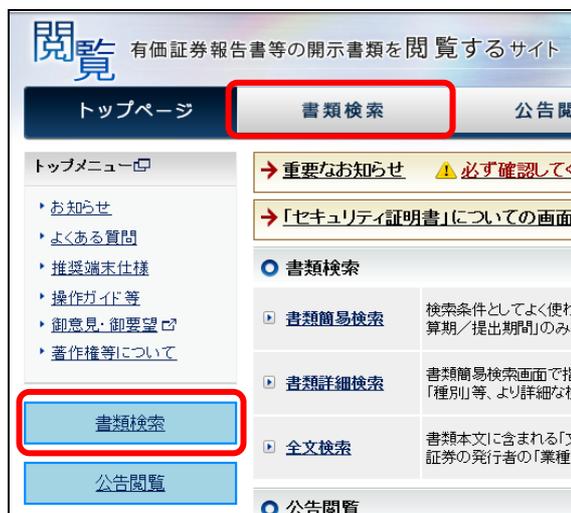
### ▶ -操作- 書類簡易検索

- (1) [有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト]の「トップページ」から、「書類簡易検索」をクリックします。



### Point 書類簡易検索画面の表示

「書類検索」タブ又は「トップページ」の「トップメニュー」から「書類検索」をクリックしても[書類簡易検索画面]を表示できます。



- (2) [書類簡易検索画面]が表示されます。  
 検索条件を指定し、【検索】ボタンをクリックします。



**Point** 検索条件の指定

書類簡易検索では、複数キーワードを組み合わせた検索条件、接頭辞を指定した検索条件等を指定できます。

- (3) [書類簡易検索結果(一覧)画面]の下側に検索結果が表示されます。  
 内容を照会する「提出書類名」をクリックします。



(4) [提出書類内容照会画面]が表示されます。

内容を確認後、【×閉じる】ボタンをクリックすると、[書類簡易検索結果(一覧)画面]に戻ります。



**Point** [提出書類内容照会画面]をお気に入りに登録する場合

[提出書類内容照会画面]をお気に入りに登録する場合、メニューバーの「お気に入り」メニューから登録します。

ウィンドウ上で右クリックして表示されるショートカットメニューから「お気に入りに追加」を選択して登録した場合、次回以降に「お気に入り」メニューから表示しようとしてもエラーになります。

## 2-3-2 書類詳細検索の高度化

書類詳細検索の操作手順を説明します。

### ▶ -操作- 書類詳細検索

- (1) [有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト]の「トップページ」から、「書類詳細検索」をクリックします。



- (2) [書類詳細検索画面]が表示されます。

検索条件を指定し、【検索】ボタンをクリックします。



- (3) [書類詳細検索結果(一覧)画面] の下側に検索結果が表示されます。  
内容を照会する「提出書類名」をクリックします。



- (4) [提出書類内容照会画面] が表示されます。  
内容を確認後、【×閉じる】ボタンをクリックすると、[書類詳細検索結果(一覧)画面] に戻ります。



## 2-3-3 全文検索の高度化

全文検索の変更点について説明します。

### [1] 検索条件: 対象書類指定

検索条件に、対象書類の指定ができます。

The screenshot shows the EDINET search page with the '書類検索' (Document Search) tab selected. A red box highlights the search criteria section, including a text input field and a list of document types with checkboxes. An orange callout box with arrows points to the '提出本文書' (Submitted Document) checkbox and the '書類情報を指定する' (Specify Document Information) section.

**変更点**  
 検索条件に、対象とする書類(本文なのか、監査報告書なのか等)を指定することができます。

### [2] 検索条件: 書類の目次指定

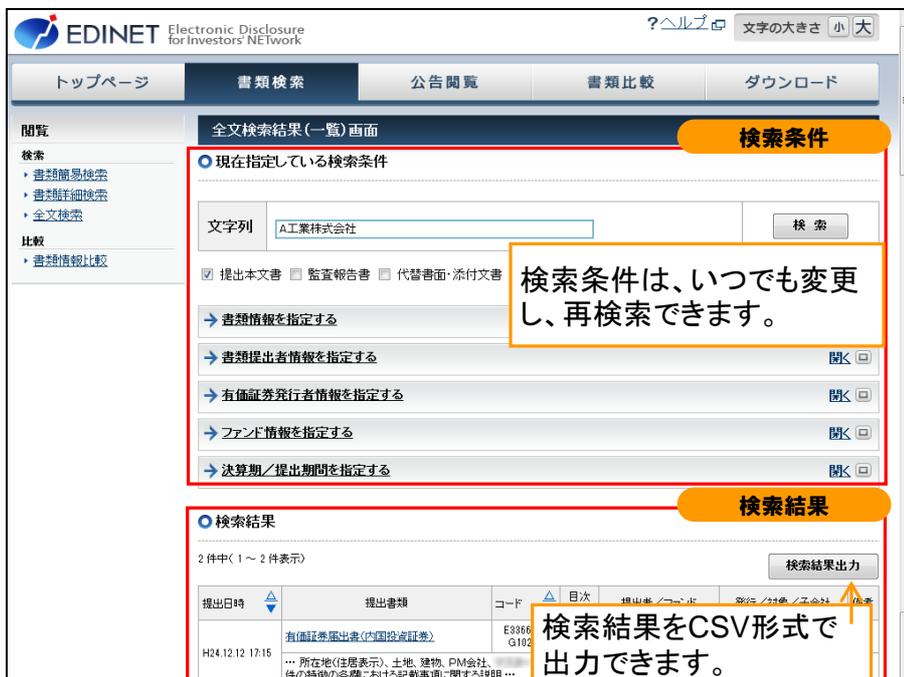
検索条件に、書類の目次の指定ができます。

The screenshot shows the EDINET search page with the '全文検索' (Full Text Search) section expanded. A red box highlights the '書類の目次を指定する' (Specify Document Table of Contents) option. An orange callout box with an arrow points to the '書類の目次を選択して指定できます' (You can specify by selecting the document table of contents) text.

**書類の目次を選択して指定できます**

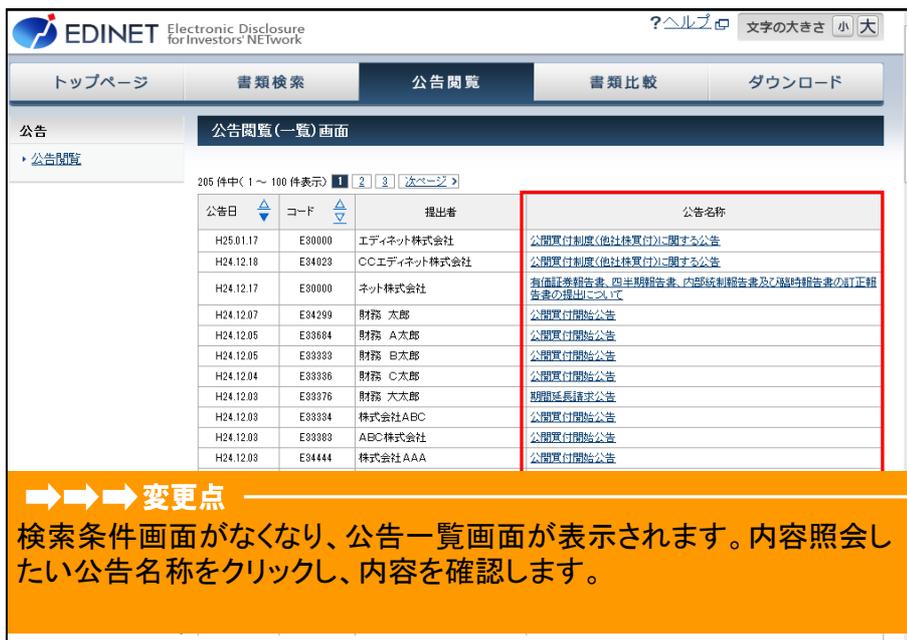
〔3〕検索条件の再指定及び検索結果の出力

検索条件は、いつでも変更できます。また表示されている検索結果を CSV 形式で出力することができます。



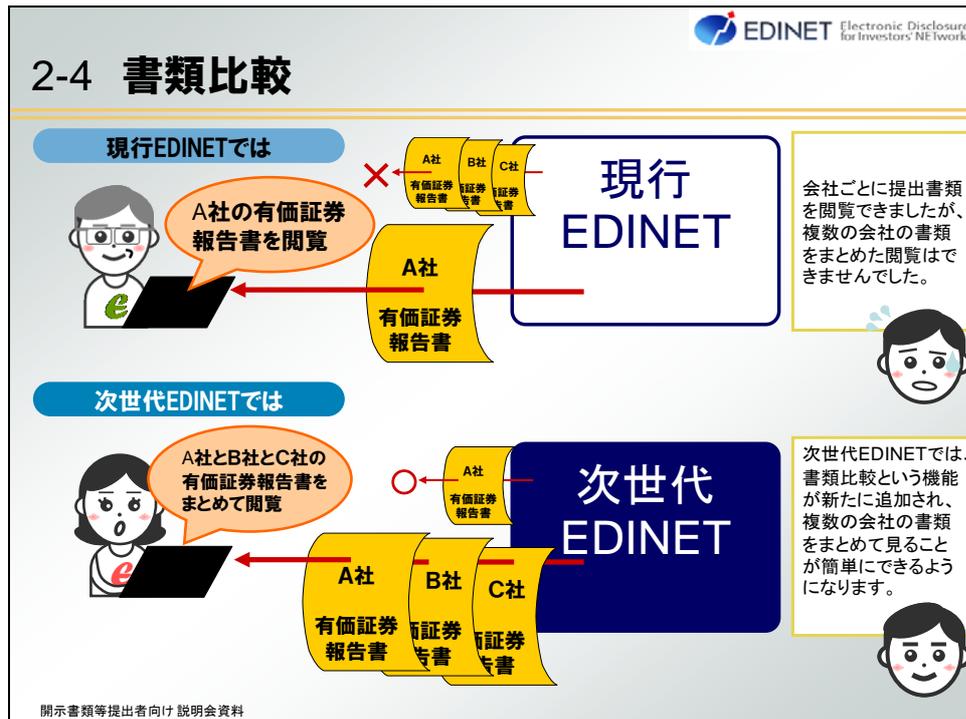
2-3-4 公告閲覧の一覧化

公告閲覧において、現行 EDINET では検索後に公告一覧が表示されていました。次世代 EDINET では、検索条件指定画面がなくなり、[公告閲覧] メニューを選択すると公告一覧が表示されます。



## 2-4 書類比較の導入

現行 EDINET では、会社ごとに提出書類を閲覧できましたが、複数の会社の書類をまとめた閲覧はできませんでした。次世代 EDINET では、従来の閲覧方法に加え、「書類比較」という機能が新たに追加され、複数の会社の書類をまとめて閲覧することが簡単にできるようになります。



書類比較の対象書類は、次世代 EDINET タクソノミで提出された有価証券届出書、有価証券報告書、四半期報告書、半期報告書の XBRL データ及び各訂正書類に添付されたインライン XBRL です。したがって現行 EDINET で提出されている書類は書類比較の対象外です。

**有価証券届出書**

**有価証券報告書**

**四半期報告書**

**半期報告書**

※上記の各訂正書類の添付XBRLデータを含む

**Point** 書類比較の対象として選択できない書類又は箇所について

次世代 EDINET タクソノミで提出された有価証券届出書、有価証券報告書、四半期報告書、半期報告書であっても、次の書類は、書類比較できません。なお、次のいずれの書類であっても XBRL データをダウンロードすることができます(②の一部不開示の書類は、XBRL ダウンロード不可と設定された書類を除く。)

- ①提出された XBRL データに「SERIOUS WARNING」を含んだまま提出された書類。  
※「SERIOUS WARNING」とは、提出された XBRL データに重大な警告が発生していることを表す EDINET での書類チェック結果のひとつです。例えば連結貸借対照表の貸借が、一致していない場合や、貸借対照表や損益計算書のタグ付けが正しく行われていない場合等に発生し、このような書類は書類比較の対象外として自動設定され、書類比較を行えません。
- ②一部不開示又は全部不開示の書類。
- ③シリーズファンドにおけるファンドの財務諸表。
- ④IFRS タクソノミを使用して作成された財務諸表 (EDINET タクソノミを使用して作成された部分は書類比較対象となります。)
- ⑤金融庁に書類比較対象外として判断された書類。

また、表又は図が含まれる項目を比較対象とした場合、図は比較結果に反映されません。表は、表形式では比較結果に反映されません。表内の値が連続して (HTML に記載した順 (表のセルの左から右、上から下の順番) で、値の区切りはありません。) 表示されます。

比較結果は、縦に書類の項目名、横に提出書類名を配した一覧として表示されます。提出書類のレイアウトをそのまま比較するものではなく、提出書類に含まれる値を一覧化します。なお、書類比較対象として一度に選択可能な提出書類は、5 件までです。また、書類項目は 100 件まで指定が可能です。



## 2-4 書類比較

比較結果は、次のような縦と横の項目で構成される一覧に表示されます。

比較結果										
順序	目次	表示項目	単位	時期	連結・個別	項目詳細	提出書類	提出書類	提出書類	
1	連結経営指標等	売上高	JPY	当期その他	その他	売上高、経営指標等	【指定書/ファンド】エディネット株式会社	【指定書/ファンド】エディネット証券	323,609,000,000	4,467,574,000,000
2	連結経営指標等	売上高	JPY	当期その他	その他	売上高、経営指標等	【発行/対象/子会社】-	【発行/対象/子会社】-	210,348,000,000	2,124,276,000,000
3	連結経営指標等	経常利益又は経常損失(△)	JPY	当期その他	その他	経常利益又は経常損失(△)、経営指標等	【指定日時】H24.11.00 15:41	【指定日時】H24.11.22 17:15	15,263,000,000	91,116,000,000
4	連結経営指標等	経常利益又は経常損失(△)	JPY	当期その他	その他	経常利益又は経常損失(△)、経営指標等	【決算期】H24.3月	【決算期】H24.11	15,445,000,000	45,456,000,000
5	連結経営指標等	当期純利益又は当期純損失(△)	JPY	当期その他	その他	当期純利益又は当期純損失(△)、経営指標等	【書類種別】有価証券報告書	【書類種別】有価証券報告書	8,856,000,000	42,707,800,000
6	連結経営指標等	当期純利益又は当期純損失(△)	JPY	当期その他	その他	当期純利益又は当期純損失(△)、経営指標等	【書類種別】有価証券報告書	【書類種別】有価証券報告書	13,063,000,000	54,800,000,000

比較結果では、画面により提出された情報は表示されません。当該情報に関しては、書類種別から個別の書類を選択することにより閲覧可能です。

金融庁/Financial Services Agency, The Japanese Government Copyright ©金融庁 All Rights Reserved.

開示書類等提出者向け 説明会資料

書類比較の操作手順を説明します。本テキストでは、EDINET コードが「E33405」と「E33702」の開示書類等提出者が提出した有価証券報告書を比較する例で説明します。また、設定は次の順に進めます。


**EDINET** Electronic Disclosure  
for Investors' Network

## 2-4 書類比較

書類比較の設定は、次の順に進めます。

**比較結果**

Step1

比較結果保存 × 閉じる

横 - 比較する提出書類

→

種別	目次	表示項目	単位	時期	連結・個別	項目詳細		
連結証券指標等	売上高	JPY	当期その他	その他	売上高、証券指標等		323,609,000,000	4,487,574,000,000
連結証券指標等	売上高		当期その他	その他	売上高、証券指標等			2,124,276,000,000
連結証券指標等	経常		当期その他	その他	経常利益又は経常損失			0,000
連結証券指標等	当期純利益又は当期純損失(△)	JPY	当期その他	その他	当期純利益又は当期純損失(△)、証券指標等		13,063,000,000	34,900,000,000
連結証券指標等	当期純利益又は当期純損失(△)		当期その他	その他	当期純利益又は当期純損失(△)、証券指標等			0,000

Step2

Step3

縦 - 比較する書類項目

比較する値の一覧

比較結果では、画像により隠された情報は表示されません。当該情報に関しては、書類本文から個別の書類を閲覧することにより閲覧可能です。

金融庁 Financial Services Agency, The Japanese Government Copyright ©金融庁 All Rights Reserved.

開示書類等提出者向け説明会資料

33

## ▶ -操作- 書類比較

- (1) [有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト]から、「書類比較」をクリックします。



- (2) [書類情報比較画面]が表示されます。

比較対象とする書類を選択します。「書類簡易検索」又は「書類詳細検索」のいずれかをクリックします。

※本テキストでは、「書類簡易検索」を選択した例で説明します。



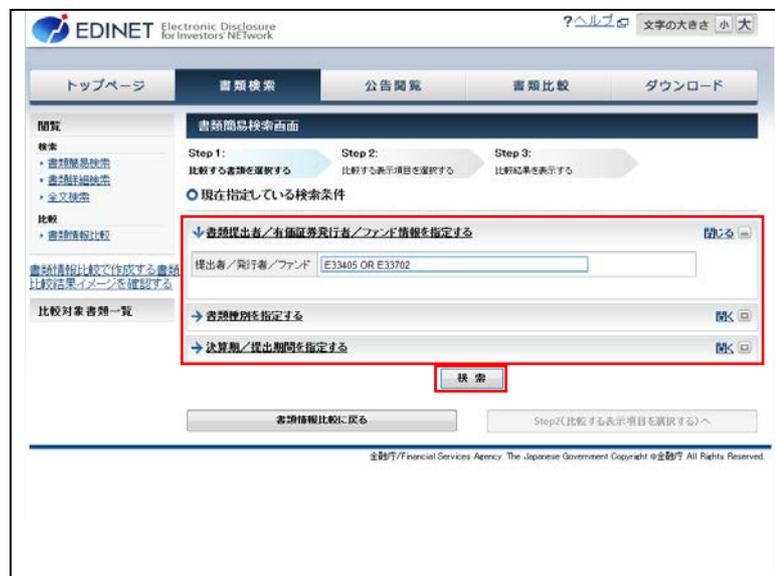
**Point** Step1 で設定すること

Step1 では、比較対象とする提出書類を選択します。選択された書類は、比較結果の横の項目を構成します。



(3) 「書類簡易検索画面」が表示されます。

比較対象とする書類の検索条件を指定し、【検索】ボタンをクリックします。

**Point** 検索条件の指定について

検索条件の指定方法の詳細については、「2-3 書類簡易検索の導入と書類詳細検索の高度化 **Point** 検索条件指定時の変更点」(p.20)又は「書類閲覧操作ガイド」を参照してください。

(4) [書類簡易検索結果(一覧)画面]が表示されます。

検索結果を確認し、比較対象とする提出書類の「比較」にあるアイコンをクリックします。

選択された提出書類のアイコンにチェックマークが表示され、左上の「比較対象書類一覧」に書類名が表示されたことを確認します。

The screenshot shows the EDINET interface for document comparison. The main area displays search results with columns for submission date, document name, code, issuer, and comparison status. A red box highlights the '比較' (Compare) column, showing a checkmark in the first row. Another red box highlights the '比較対象書類一覧' (List of Comparison Target Documents) section on the left, which displays the details of the selected document.

提出日時	提出書類	コード	提出者/ファンド	発行/対象/子会社/銘柄提出事由	PDF	XBRL	比較	備考
H24.11.26 17:15	訂正有価証券報告書-第52期(平成24年4月1日-平成24年3月31日)	E33405	エディネット株式会社		PDF	XBRL	☑	
H24.11.22 17:15	有価証券報告書-第51期(平成24年11月27日-平成24年11月27日)	E33702	エディネット証券		PDF	XBRL		
H24.11.22 17:15	有価証券報告書-第51期(平成24年11月27日-平成24年11月27日)	E33702	エディネット証券		PDF	XBRL		
H24.11.00 15:41	有価証券報告書-第50期(平成24年4月25日-平成24年3月31日)	E33405	エディネット株式会社		PDF	XBRL		

### Point 選択した提出書類を比較対象から外す場合

選択した提出書類を比較対象から外す場合は、「比較対象書類一覧」にある書類一覧から比較対象外とする提出書類の「削除」をクリックします。

(5) さらに比較対象とする提出書類の「比較」にあるアイコンをクリックし、選択された提出書類のアイコンにチェックマークが表示され、左上の「比較対象書類一覧」に表示されたことを確認します。比較対象とする提出書類選択後、【Step2(比較する表示項目を選択する)へ】ボタンをクリックします。



**Point** ほかの開示書類等提出者の提出書類も比較対象とする

検索結果に表示されていないほかの開示書類等提出者の提出書類も比較対象としたい場合は、画面上側にある「現在指定している検索条件」で検索条件を変更後、再検索し選択します。再検索しても、比較対象として選択された提出書類は、保持されています。

**Point** Step2で設定すること

Step2では、比較する提出書類の項目を選択します。選択された項目は、比較結果の縦の項目を構成します。



(6) [表示項目検索画面] が表示されます。

比較したい項目を提出書類から抽出します。画面上側にある表示項目検索で検索条件を指定し、【検索】ボタンをクリックします。



(7) [表示項目検索結果(一覧)画面] が一覧表示されます。

比較結果に表示したい項目の「選択」をクリックし、チェックマークを付け、【表示項目の選択】ボタンをクリックします。



**Point** 検索結果が複数ページにわたる場合

検索結果が複数ページに表示された場合、比較する項目は、ページごとに選択し【表示項目の選択】ボタンをクリックします。

(8) 項目選択後、【Step3(比較結果を表示する)へ】ボタンをクリックします。



(9) [書類情報比較画面]が表示されます。

比較結果を表示します。【比較結果表示】ボタンをクリックします。



- (10) [比較結果]画面が表示されます。  
比較結果を確認します。

項目	単位	時期	種別	項目詳細	値
連結経営指標等	円/兆	当期	その他	高上基、経営指標等	323,000,000,000
連結経営指標等	円/兆	前期	その他	高上基、経営指標等	4,407,074,000,000
連結経営指標等	円/兆	当期	その他	高上基、経営指標等	210,348,000,000
連結経営指標等	円/兆	前期	その他	高上基、経営指標等	2,124,276,000,000
連結経営指標等	円/兆	当期	その他	経常利益又は経常損失(△)、経営指標等	15,263,000,000
連結経営指標等	円/兆	前期	その他	経常利益又は経常損失(△)、経営指標等	91,116,000,000
連結経営指標等	円/兆	当期	その他	経常利益又は経常損失(△)、経営指標等	15,445,000,000
連結経営指標等	円/兆	前期	その他	経常利益又は経常損失(△)、経営指標等	45,456,000,000
連結経営指標等	円/兆	当期	その他	当期純利益又は当期純損失(△)、経営指標等	5,056,000,000
連結経営指標等	円/兆	前期	その他	当期純利益又は当期純損失(△)、経営指標等	42,707,000,000
連結経営指標等	円/兆	当期	その他	当期純利益又は当期純損失(△)、経営指標等	13,002,000,000
連結経営指標等	円/兆	前期	その他	当期純利益又は当期純損失(△)、経営指標等	54,808,000,000

**Point** 比較結果の保存

[比較結果]画面の【比較結果保存】ボタンをクリックすると、表示されている比較結果をCSV形式のファイルで出力することができます。

なお、出力されたCSVファイルは、タブ区切りテキストファイルです。Excelの表計算ソフトで開く場合に表示される「テキストファイルウィザード」で区切り文字は、「タブ」を指定してください。

**Point** 比較条件の保存

[書類情報比較画面]の【保存】ボタンをクリックすると、設定した比較条件を保存しておくことができます(ファイル形式: dat ファイル)。次回、再度同じ条件で比較する際に、比較条件を再指定する必要がありません。なお、保存した比較条件を読み込む場合は、本画面の【読込】ボタンをクリックして、保存した比較条件ファイルを指定します。

書類情報比較画面

Step 1: 比較する書類を選択する

Step 2: 比較する表示項目を選択する

Step 3: 比較結果を表示する

保存

読込

提出日時	提出書類	コード	提出者/ファンド	発行/対象/子会社	有償
H24.11.08 15:41	有価証券報告書-第52期平成23年4月1日-平成24年3月31日	E33405	エディネット株式会社		無償

## 2-5 ダウンロード機能の高度化

ダウンロードメニューからは、EDINET タクソノミ、サンプルインスタンス等のデータ及びXBRL から CSV への変換ツールをダウンロードできます。



### 2-5 ダウンロード機能の高度化

ダウンロードメニューからは、次のデータやツールをダウンロードできます。

**XBRL(一括)**

Data

XBRL(一括)

**XBRLからCSVへの変換ツール**

Tool

XBRLからCSVへの変換ツール

**EDINETタクソノミ及びコードリスト**

Data

EDINET  
タクソノミ

Data

EDINET  
コードリスト

Data

EDINET  
サンプルインスタンス

開示書類等提出者向け説明会資料

### 2-5-1 XBRL 一括ダウンロードの高度化

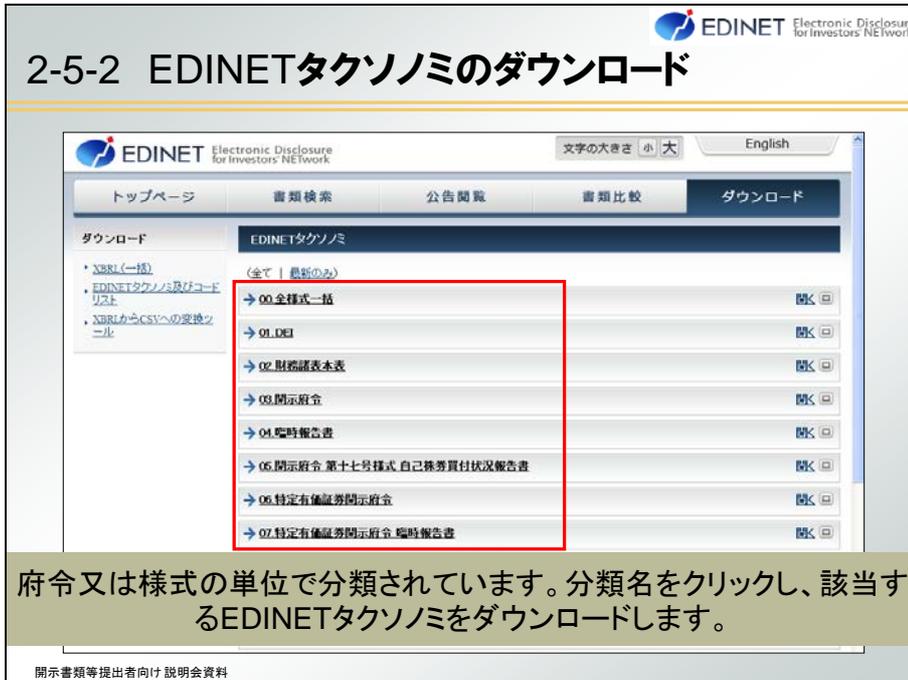
XBRL 一括ダウンロード時に、現行 EDINET では、ダウンロード条件を指定することができませんでしたが、次世代 EDINET では、業種、提出期間及び提出書類を条件として絞り込んでダウンロードできるようになります。また、ダウンロードの単位は現行 EDINET では EDINET 業種でしたが、次世代 EDINET では「東証 33 業種」です。



The screenshot shows the EDINET website interface. The 'ダウンロード' (Download) menu is active, and the 'XBRL一括ダウンロード指定画面' (XBRL Bulk Download Specification Screen) is displayed. The '現在指定している検索条件' (Current Search Conditions) section includes options to specify search conditions for '提出者情報' (Submitter Information), '書類種別' (Document Type), and '提出期間' (Submission Period). The '検索結果' (Search Results) section shows a table of results with columns for '提出日' (Submission Date), '提出業種/提出者種別' (Submission Industry/Submitter Type), and '提出書類' (Submission Document). The '提出書類' column is expanded to show a list of document types, including '有価証券報告書(CS01R)' and '半期報告書(2104R)'.

## 2-5-2 EDINET タクソミのダウンロード単位の変更

EDINET タクソミのダウンロード単位は、現行 EDINET では「業種」ごとに分類されていましたが、次世代 EDINET では「内閣府令」又は「様式」ごとに分類されダウンロードできるようになります。



2-5-2 EDINETタクソミのダウンロード

EDINET Electronic Disclosure for Investors' NETWORK

文字の大きさ 小 大 English

トップページ 書類検索 公告閲覧 書類比較 **ダウンロード**

ダウンロード

EDINETタクソミ

(全て | 最新のみ)

- 00.全様式一括 開く
- 01.EDX 開く
- 02.財務諸表本表 開く
- 03.開示府令 開く
- 04.臨時報告書 開く
- 05.開示府令\_第十七号様式\_自己株券買付状況報告書 開く
- 06.特定有価証券開示府令 開く
- 07.特定有価証券開示府令\_臨時報告書 開く

府令又は様式の単位で分類されています。分類名をクリックし、該当するEDINETタクソミをダウンロードします。

開示書類等提出者向け 説明会資料

### Point EDINET コードリストのダウンロード

現行 EDINET では、「EDINET コード」、「提出者名」及び「所在地」の一覧を CSV 形式のファイルでダウンロードできます。次世代 EDINET では、これらに加え、「ファンドコード」、「東証 33 業種」及び「証券コード」についてもダウンロードできるようになります。

### 2-5-3 XBRL から CSV への変換ツールの導入

次世代 EDINET では、EDINET で検索した提出書類の XBRL データを、CSV 形式のファイルへ変換するツールが提供されます。本ツールは、EDINET の [ダウンロード画面] から起動できます。

**2-5-3 XBRLからCSVへの変換ツール**

EDINETで検索した提出書類のXBRLデータを、CSV形式のファイルへ変換し、Excelなどの表計算ソフトで分析できます。

開示書類等提出者向け説明会資料

メニューをクリックすると、次のような画面が表示されます。「入力元 (XBRL ファイル)」と CSV 形式のファイルの「保存先」を指定し、【実行】ボタンをクリックすると指定した保存先に CSV 形式のファイルが保存されます。

なお、提出書類に含まれる表や図の変換に当たっては、提出書類に記載された形状で再現できるデータをダウンロードできません。

**2-5-3 XBRLからCSVへの変換ツール**

【XBRLからCSVへの変換ツールの機能概要】

XBRLファイルから項目を抽出し、CSV形式に変換及び出力することができます。  
独自の交換ルール定義ファイルを作成及び指定することで、出力CSVファイルにおける項目名等の変更が可能です。  
※タスクと改訂時には、交換ルールが更新されますので、本ツールを再度ダウンロードして利用してください。

入力となるXBRLファイルと出力するCSVファイルの保存先を指定し、実行ボタンを押してください。

独自の交換ルール定義ファイル格納フォルダ (任意項目)

入力元 (XBRLファイル)

保存先 (CSVファイル)

開示書類等提出者向け説明会資料



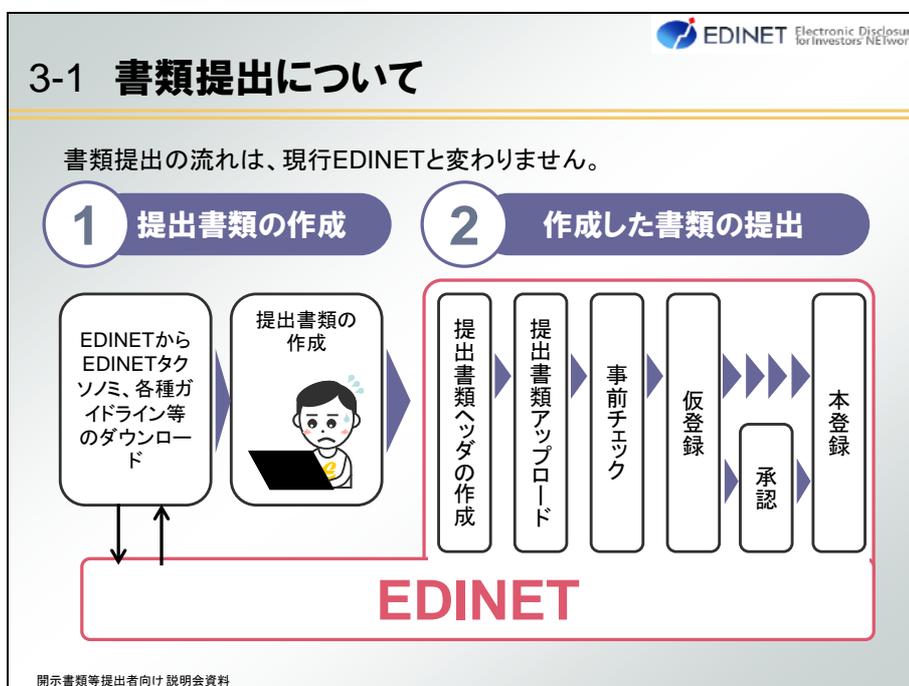
## 3 章 書類提出時の変更点

---

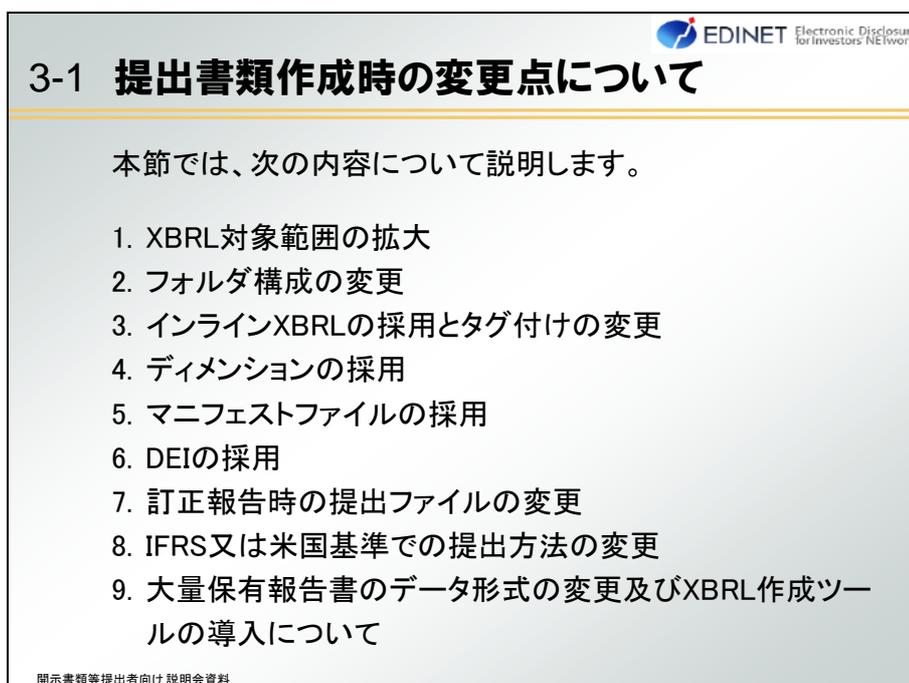
書類提出時の変更点について説明します。  
実際の提出に当たっては、各種ガイドラインも参照してください。

## 3-1 提出書類作成時の変更点

書類提出の流れは、現行 EDINET と変わりません。

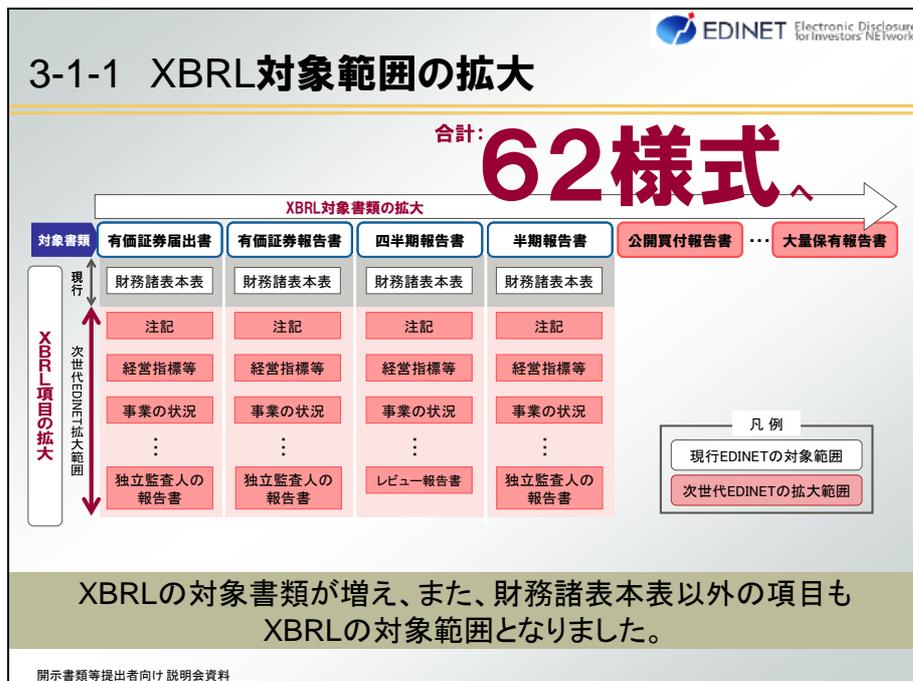
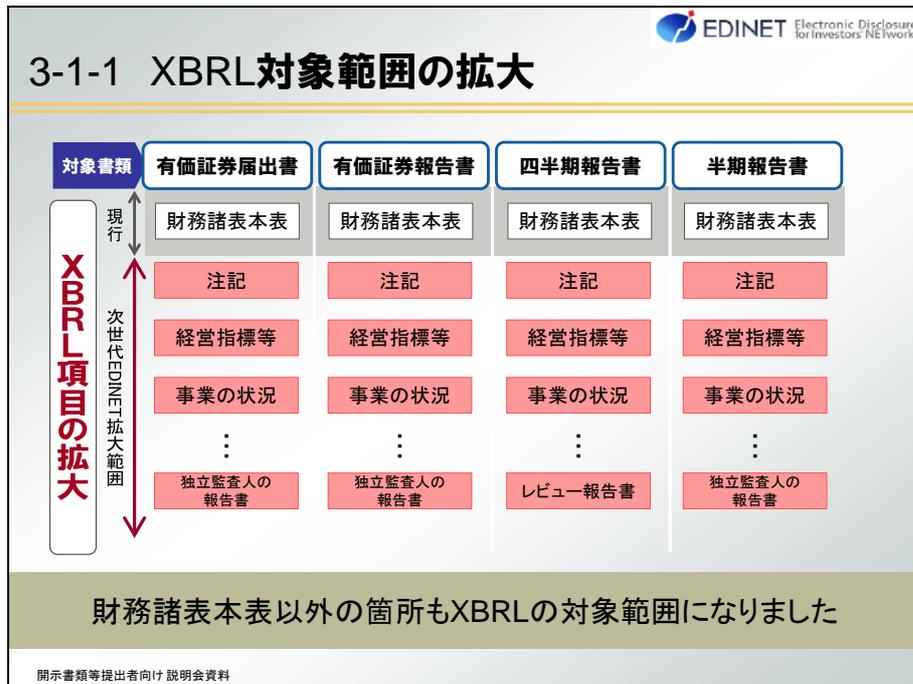


本節では、次の内容について説明します。



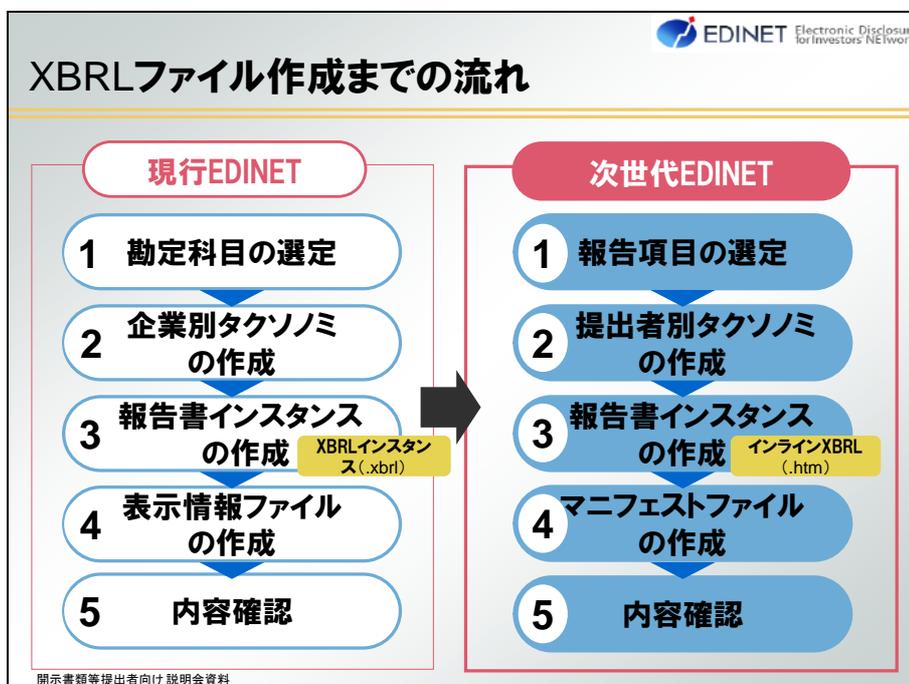
### 3-1-1 XBRL 対象範囲の拡大

現行 EDINET では、一部の対象書類における財務諸表本表が XBRL の対象範囲でしたが、次世代 EDINET では XBRL の対象書類が 62 様式に増え、財務諸表本表以外の箇所も XBRL の対象範囲となります。※XBRL 対象様式の一覧は「付録 1 XBRL 対象様式」(p.84)を参照してください。



XBRL ファイル作成までの流れは、次のように変更されます。

現行 EDINET で提出していた表示変換方式（2008 年から開始された現行 EDINET における XBRL 形式をいう。以下同じ。）による XBRL を含む書類の新規提出は、次世代 EDINET ではできなくなります。現行 EDINET に表示変換方式による XBRL を含む書類を提出しており、当該書類の訂正を行う場合は、現行 EDINET の提出方法と同じ手順で提出書類を作成し、提出します。



#### **Point** 提出者別タクソミ

現行 EDINET では「企業別タクソミ」と呼ばれていました。

EDINET への書類提出においては、個人の提出者も多く含まれることから、次世代 EDINET では「提出者別タクソミ」と呼びます。

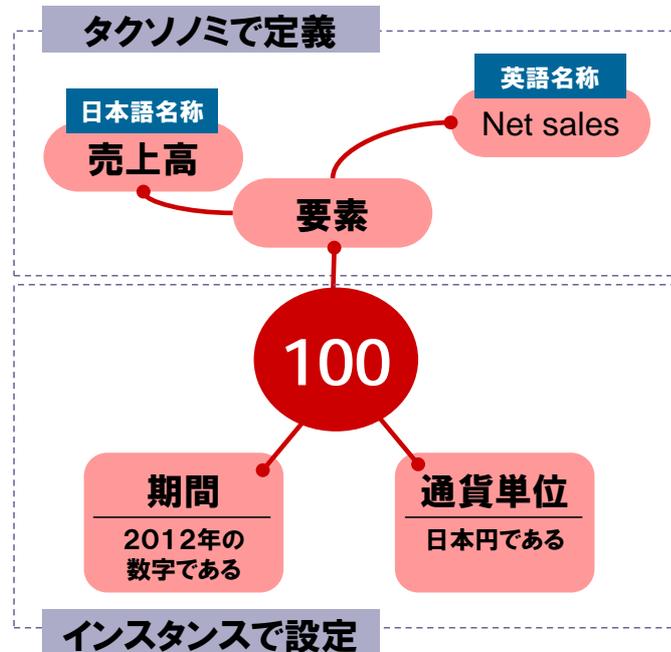
#### **Point** マニフェストファイル

次世代 EDINET で採用される新しい仕様の一つで、提出書類のファイル構成を明示するために作成するファイルです。「3-1-7 マニフェストファイル」(p.59)を併せて参照してください。

**Point** XBRL におけるタクソノミ及びインスタンス

XBRL とは、各種財務報告用の情報を作成、流通及び利用できるように標準化された XML ベースの言語「eXtensible Business Reporting Language」の略です。

XBRL における書類作成では、「タクソノミ」及び「インスタンス」が必要です。次の図では、「100」という開示情報並びにタクソノミ及びインスタンスの関係(イメージ)を表しています。ひも付く要素及び項目(日本語名称、英語名称等)はタクソノミで定義し、期間、通貨単位等はインスタンスで設定します。

**Point** 次世代 EDINET に書類を提出する際のチェックについて

次世代 EDINET では、開示書類等提出者が提出した書類のチェック(「バリデーション」という。)を次のタイミングで実施します。

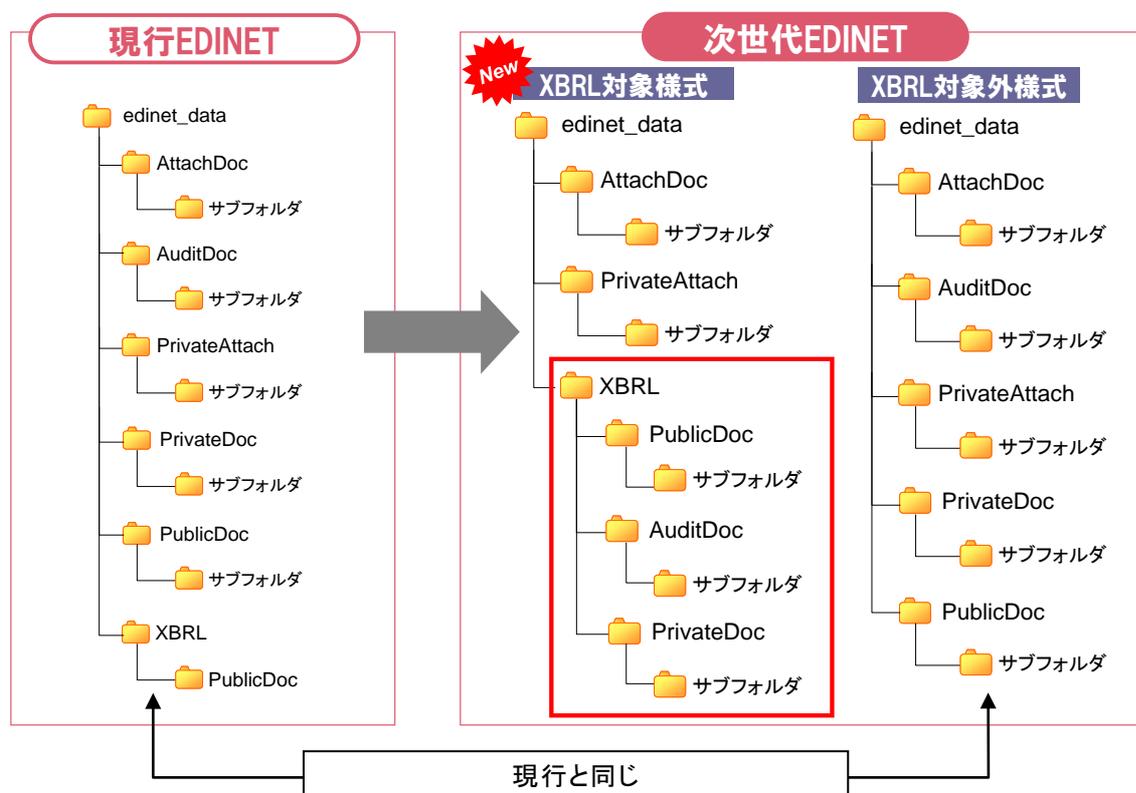
- (1) 次世代 EDINET へのアップロード時
- (2) 事前チェック時
- (3) 仮登録時
- (4) 本登録時

### 3-1-2 フォルダ構成の変更

作成した提出書類を格納するフォルダ構成が変更されます。

XBRL 対象様式の XBRL フォルダの配下には、XBRL データを格納します。作成された XBRL データのうち、提出書類本文は「PublicDoc」フォルダ、独立監査人の報告書は「AuditDoc」フォルダ、公衆の縦覧に供しない書類を提出する場合は「PrivateDoc」フォルダを作成し、それぞれ格納します。

XBRL 対象外様式は、XBRL データを含まないため、「XBRL」フォルダはありません。また、フォルダ構成は現行 EDINET と同じです。



**Point** XBRL 対象様式で作成した提出書類の訂正報告書を提出する場合

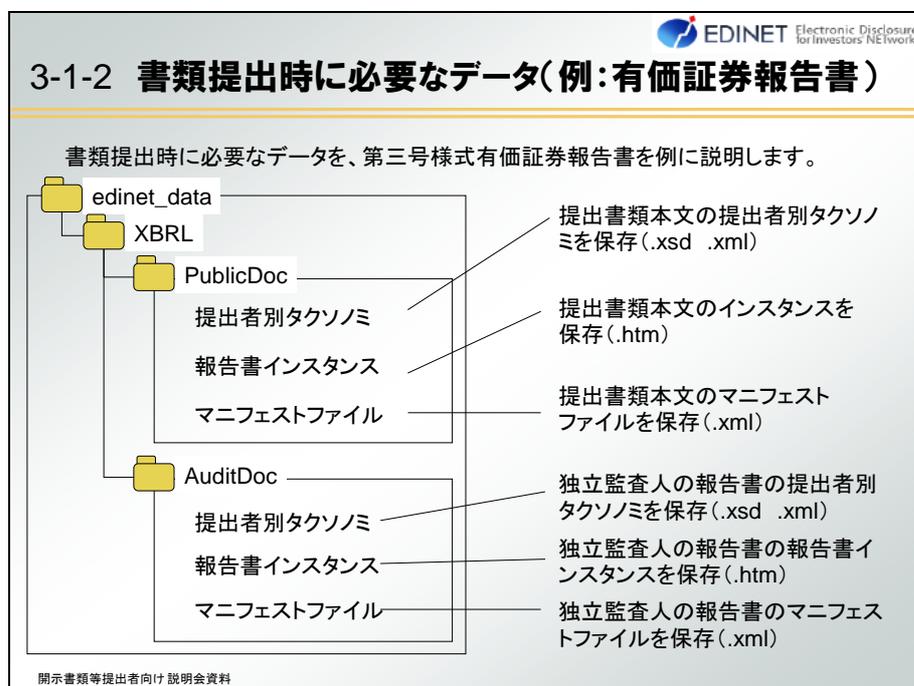
訂正報告書は HTML 形式のファイルで作成します。

そのため、XBRL フォルダの配下ではなく、提出書類フォルダ（上の図では「edinet\_data」フォルダ）の直下に「PublicDoc」フォルダを作成し、その中に訂正報告書の HTML ファイルを格納します。

次世代 EDINET から様式全体が XBRL 対象となる、有価証券報告書で提出書類本文と独立監査人の報告書とが必要な場合を例に、提出に必要な XBRL フォルダに格納するデータについて説明します。

- (1) 提出する書類データを格納するフォルダ(下図では「edinet\_data」フォルダ(フォルダ名は任意))内に「XBRL」フォルダを作成します。
- (2) XBRL フォルダ内に提出書類本文の書類データを格納するための「PublicDoc」フォルダ及び独立監査人の報告書の書類データを格納するための「AuditDoc」フォルダを作成します。
- (3) PublicDoc フォルダには提出書類本文の提出者別タクソノミ(スキーマファイル及びリンクベースファイル)、報告書インスタンスファイル、マニフェストファイルをそれぞれ格納します。同様に、AuditDoc フォルダには独立監査人の報告書の各ファイルを格納します。

※マニフェストファイルについては、「3-1-7 マニフェストファイルの採用」(p.59)を参照してください。



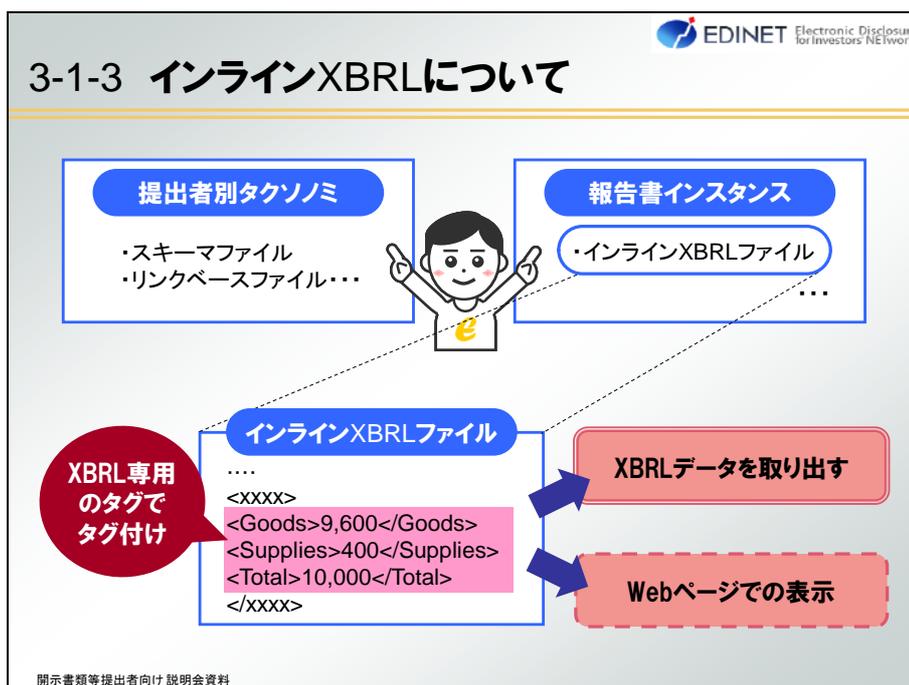
#### Point 報告書インスタンス

報告書インスタンスファイルは、「表紙ファイル」及び「本文ファイル」で構成されています。様式によって、インライン XBRL のみで作成するものと、HTML を含むものがあります。

### 3-1-3 インライン XBRL の採用

インライン XBRL について説明します。

次世代 EDINET から XBRL 対象となる様式では、報告書インスタンスの形式として、「インライン XBRL」を採用します。インライン XBRL は、XBRL インスタンス中で表現する要素を、XHTML ファイルに直接埋め込むことができます。インライン XBRL は、XHTML の持つ様々な表現力を使い、ブラウザで表示できる一方で、XBRL インスタンス中で表現する要素が XHTML ファイルに埋め込まれているため、XBRL インスタンスとして扱うことも可能で、XBRL データを利用して分析する場合に容易に利用及び加工できるようになっています。

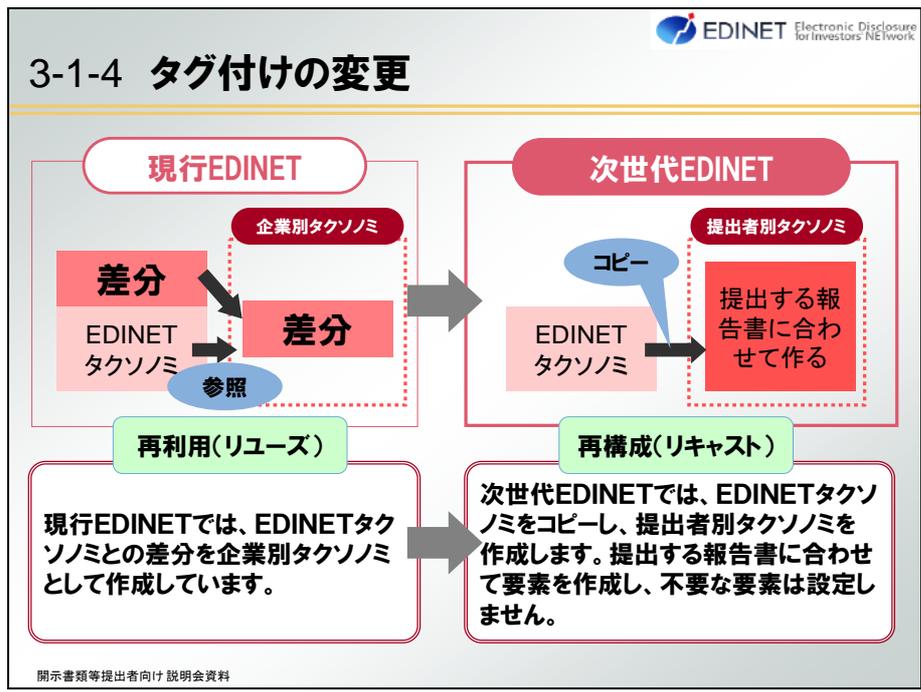


#### **Point** インライン XBRL ファイル

作成するインライン XBRL ファイルのうち、XHTML による設定部分は、XHTML1.1 (「W3C Recommendation XHTML1.1 – Module-based XHTML」(<http://www.w3.org/TR/xhtml11/>))に基づいて設定します。拡張子は「.htm」を指定します。

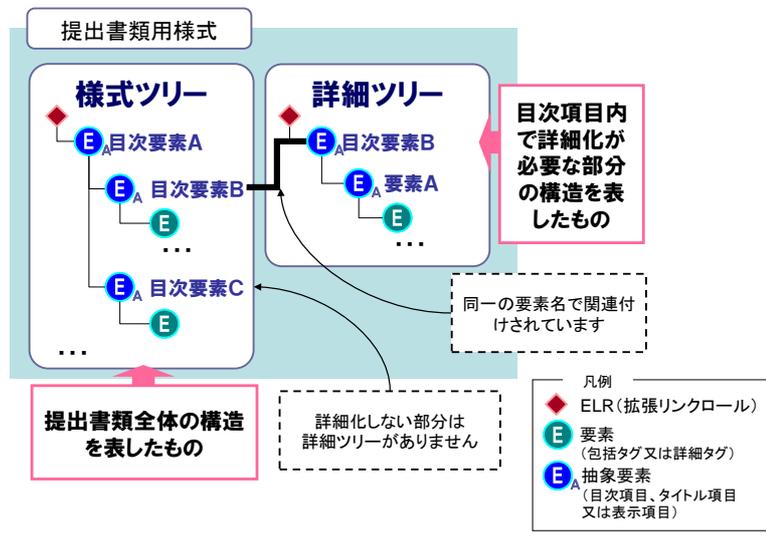
### 3-1-4 タグ付けの変更

タグ付けに必要な要素は、提出者別タクソノミに定義します。  
 現行 EDINET では、EDINET タクソノミとの差分を企業別タクソノミとして作成していました。次世代 EDINET では、EDINET タクソノミをコピーし、差分を含めた報告書全体を提出者別タクソノミに定義します。提出者別タクソノミには、タグ付けに必要な要素を表示リンク等に設定し、不要な要素は定義しません。このことを「再構成(リキャスト)」といいます。「再構成(リキャスト)」に対して現行 EDINET での企業別タクソノミの作成方法を「再利用(リユース)」といいます。



提出者別タクソノミは、次ページの図のように「様式ツリー」及び「詳細ツリー」で構成されています。

このほかに、財務諸表本表における勘定科目の階層構造全体を表した「科目一覧ツリー」というツリーも用意されています。

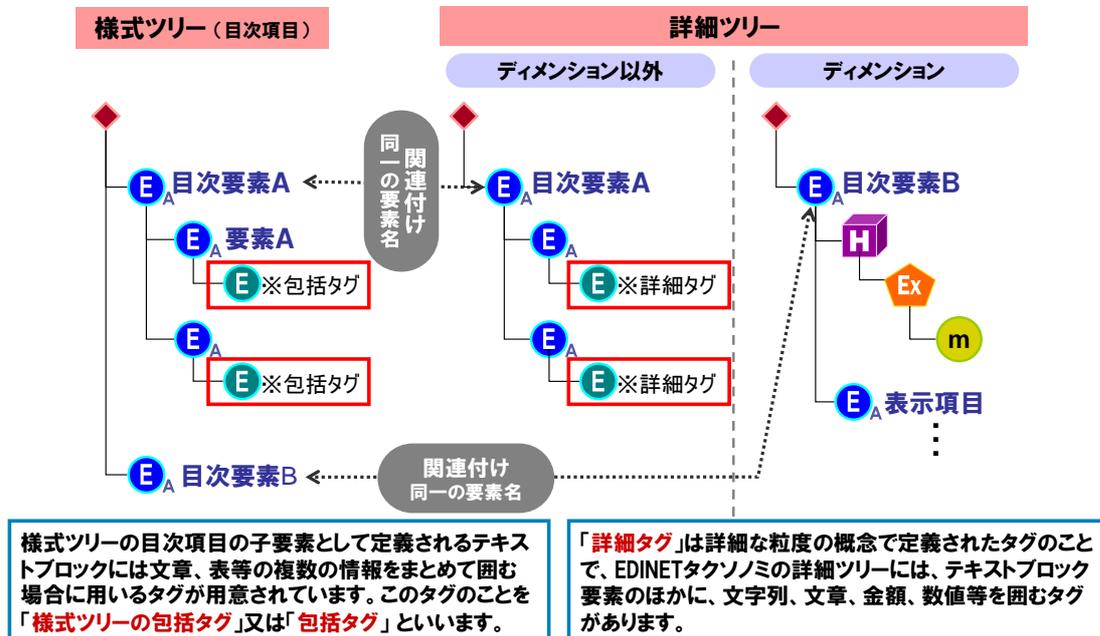


様式ツリーには、有価証券報告書等の提出書類の全体構造を表現した目次項目の一覧が定義されています。定義されている目次項目の多くは、府令様式及び財務諸表等規則等様式の隅付き括弧【 】で記載される項目に対応しています。※ただし、次世代 EDINET タクソノミにおいて独自の定義をしている箇所もあります。

目次項目の子要素として文章、表等の複数の情報をまとめてタグ付けする場合に用いる要素が定義されています。この要素のことを「様式ツリーの包括タグ」又は「包括タグ」といいます。

詳細ツリーは、提出書類全体の目次項目の中で、詳細タグ付けする対象のツリー構造を表したものです。詳細ツリーのルート要素は、対応する様式ツリーの目次項目を使用します。これにより様式ツリーと各詳細ツリーとの関連付けがされています。

また、詳細ツリーには、詳細な粒度の概念で定義された「詳細タグ」が定義され、テキストブロック要素のほかに、文字列、文章、金額、数値等を囲むタグがあります。



詳細タグ付けをする主な箇所は次のとおりです。

[全体]

- ・表紙

[有価証券届出書、有価証券報告書、四半期報告書及び半期報告書]

- ・主要な経営指標等の推移
- ・大株主の状況
- ・財務諸表本表
- ・貸借対照表関係
- ・損益計算書関係
- ・セグメント情報

[公開買付届出書及び公開買付報告書]

- ・買付け等を行った後における株券等所有割合

[大量保有報告書]

- ・報告書全体

提出書類を作成する際に必要となる、更に詳細なタグ付け指針は『提出者別タクソミ作成ガイドライン』、『報告書インスタンス作成ガイドライン』及び『報告項目及び勘定科目の取扱いに関するガイドライン』を参照してください。

### 3-1-5 該当なし要素の採用

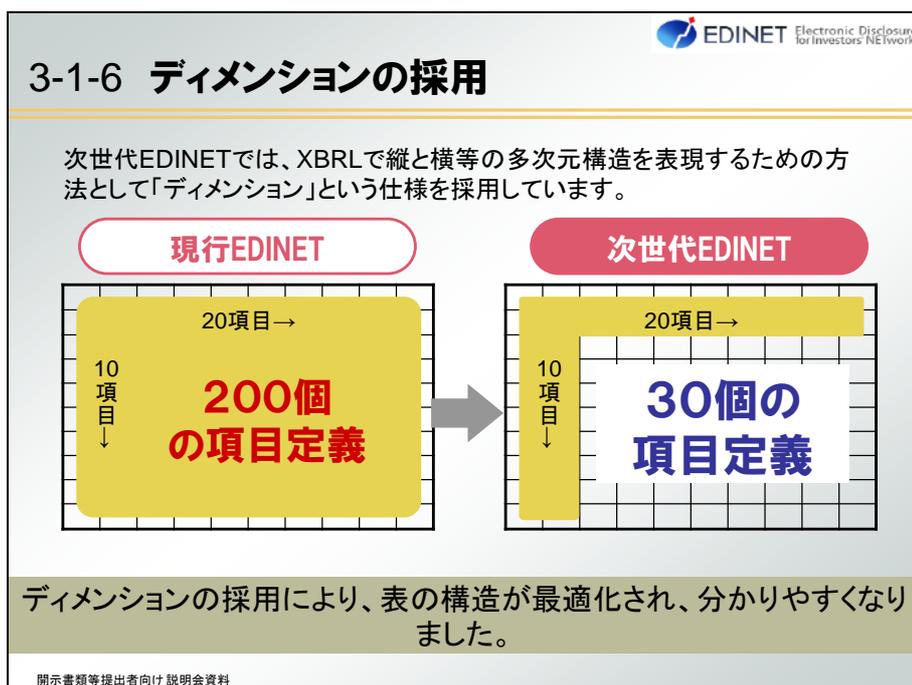
ある項目について、「該当事項はありません。」のように、該当がない旨（該当がない理由を含む。「特記事項はありません。」は、該当がない旨の記載と同等とみなす。）を記載する場合に使用する要素として「該当なし要素」が EDINET タクソミに用意されています。

この要素は、実際の開示例を参考に、該当がない旨の記載が比較的良好に現れる箇所について定義されているため、定義されていない箇所では該当がない旨の記載をする場合は、「該当なし要素」を提出者別タクソミに追加してください。

### 3-1-6 ディメンションの採用

次世代 EDINET では、XBRL で縦と横等の多次元構造を表現するための方法として「**ディメンション**」という仕様を採用しています。ディメンションは、米国及び欧州の開示システムでも採用されており、これら開示資料との国際互換性を高めるために次世代 EDINET に採用することとしました。

ディメンションが採用される株主資本等変動計算書を例に説明すると、次の図のように現行 EDINET では 200 個の項目定義が必要でしたが、次世代 EDINET では 30 個の項目定義のみとなり、表の構造が最適化され、分かりやすくなりました。



ディメンションが適用される主な箇所は、次のとおりです。

[有価証券届出書、有価証券報告書、四半期報告書及び半期報告書]

- ・連結又は個別の別
- ・大株主の状況
- ・株主資本等変動計算書
- ・遡及処理
- ・セグメント情報

[大量保有報告書]

- ・大量保有者及び共同保有者

現行 EDINET では、株主資本等変動計算書のレイアウトは、縦軸に項目、横軸に期間が設定された構造でしたが、ディメンションの採用により、次世代 EDINET では前期と当期の表を分割し、純資産の内訳を横軸の見出し、変動要因を縦軸の見出しとした次の図のようなレイアウトに変更されます。なお、当該レイアウト変更のための財務諸表等規則等の改正は、次世代 EDINET タクソノミの適用開始時期に合わせて行う予定です。

現行EDINET

③【連結株主資本等変動計算書】 (単位: 百万円)

	平成21年度 (自 平成21年4月 1日 至 平成22年3月31日)	平成22年度 (自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日)
株主資本		
<b>資本金</b>		
前期末残高	※1 10,000	※1 10,000
当期変動額		
新株の発行	0	0
当期変動額合計	0	0
当期末残高	10,000	10,000
<b>資本剰余金</b>		
前期末残高	10,000	10,000

内訳が横軸の見出し  
となります。

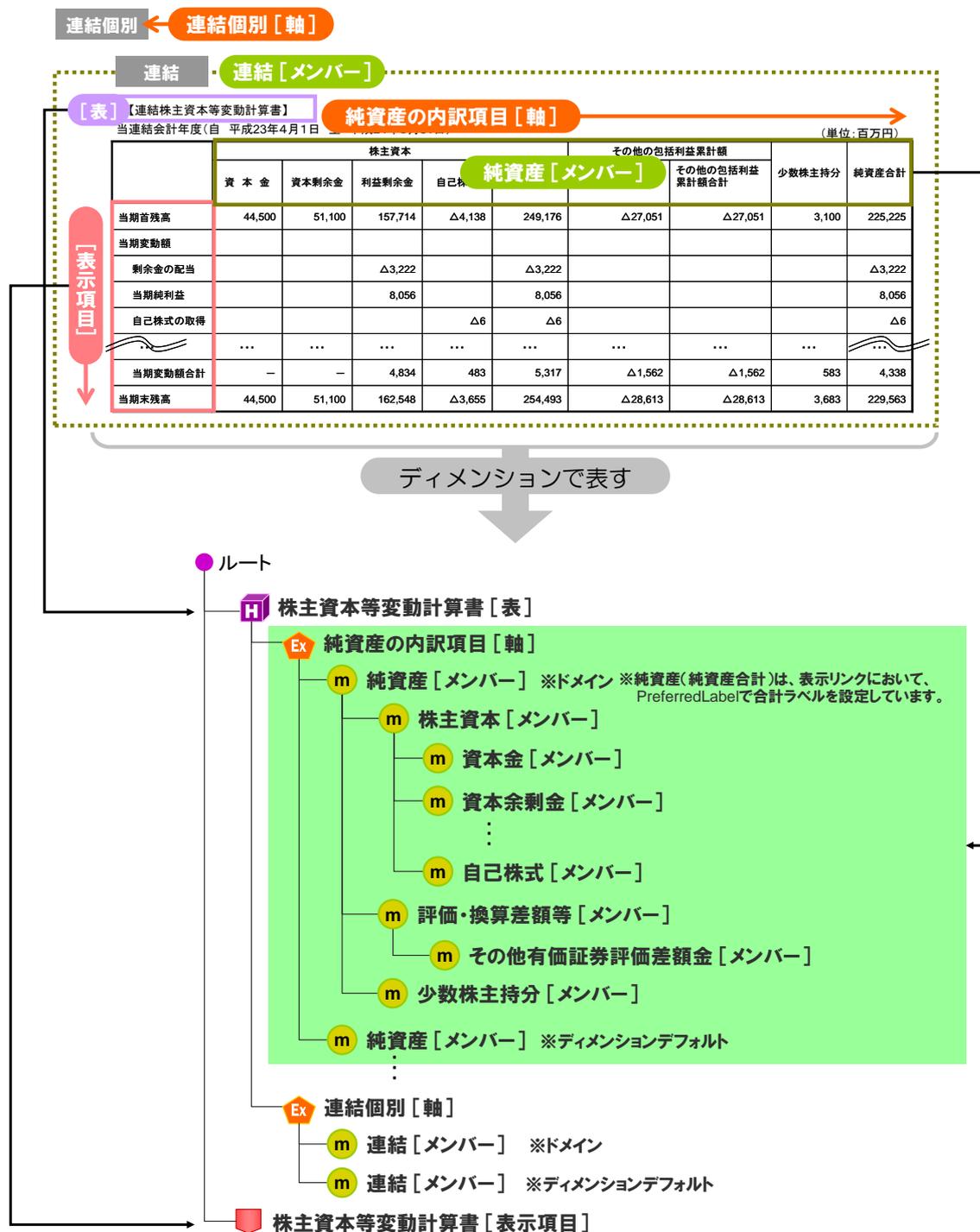
前期、当期で表が分割されます。

次世代EDINET

③【連結株主資本等変動計算書】		(単位: 百万円)				
前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)		株主資本				
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高		44,500	51,500	160,838	△3,828	252,610
当期変動額						
剰余金の配当				△3,098		△3,098
当期純利益						
自己株式の取得						
自己株式の処分						
	当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	(単位: 百万円)				
		株主資本				
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高		44,500	51,500	157,714	△4,138	249,716
当期変動額						
剰余金の配当				△3,222		△3,222
当期純利益				8,056		8,056
自己株式の取得					△6	△6
自己株式の処分					489	489

株主資本等変動計算書を例にディメンションで表すと次の図のようになります。

ディメンションを用いる箇所では、インスタンス値を「表示項目」と「ディメンション軸」との組み合わせによって表現します。次の図にある「報告セグメント」、「連結又は個別」等を定義する軸は「ディメンション軸」といい、他方の科目の並びは「表示項目」といいます。



### 3-1-7 マニフェストファイルの採用

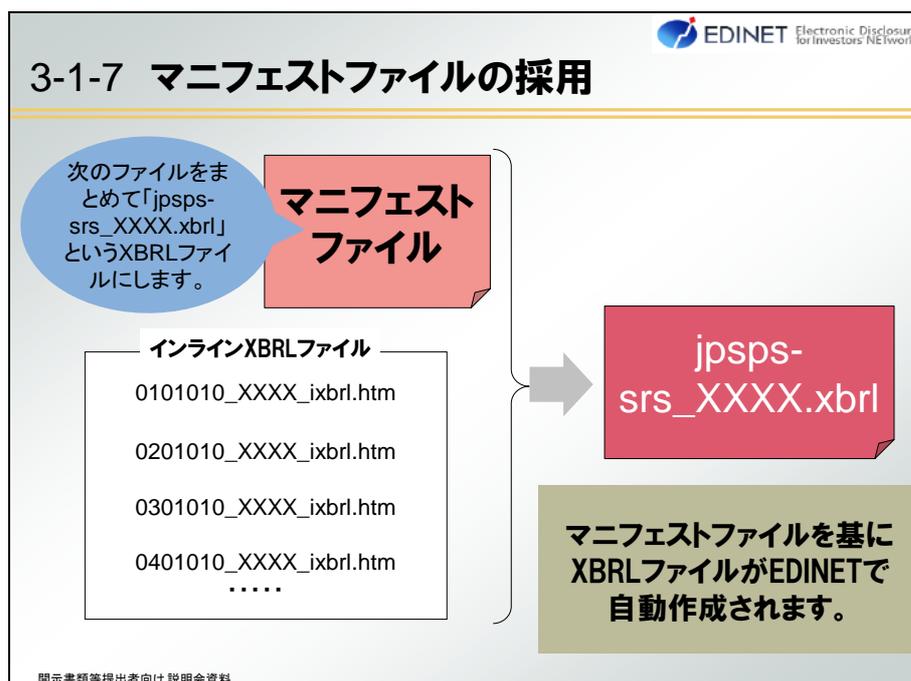
マニフェストファイルは、開示書類等提出者が作成したインライン XBRL ファイルと EDINET で自動生成される XBRL ファイルとの関連付け、複数インスタンスファイルから報告書インスタンスが作成される場合の目次項目の差し込み位置等を定義したファイルです。

次の三種類があります。

ファイル名	説明
manifest_PublicDoc.xml	縦覧用提出書類のタクソノミ及び報告書インスタンスを表す
manifest_PrivateDoc.xml	非縦覧用提出書類のタクソノミ及び報告書インスタンスを表す
manifest_AuditDoc.xml	独立監査人の報告書のタクソノミ及び報告書インスタンスを表す

開示書類等提出者向け説明会資料

マニフェストファイルに定義された内容を基に、EDINET でインライン XBRL から XBRL ファイルを自動生成します。



### 3-1-8 DEI の採用

DEI は「Document and Entity Information」の略です。次世代 EDINET では提出書類の表紙ファイルに次の内容を記載することで、開示情報利用者が当該提出書類の基本情報取得を容易にできるようにしています。

- ・ 開示書類等提出者の基本情報（EDINET コード、提出者名）
- ・ 提出書類の基本情報（府令、様式等）

DEI の採用により、現行 EDINET で提出していた文書情報タクソノミは廃止されます。

DEI に記載する内容は、様式ごとに異なります。DEI の設定に当たっては、『提出者別タクソノミ作成ガイドライン 添付 5 様式ごとの DEI の設定値対応一覧』を併せて参照してください。



## 3-1-8 DEIの採用

DEIは表紙ファイルに記載します。DEIには提出書類の基本情報（Document Information）及び開示書類等提出者の基本情報（Entity Information）が含まれます。

**表紙ファイル**

DEI

**開示書類等提出者の基本情報**  
EDINETコード、提出者名

**提出書類の基本情報**  
府令、様式等

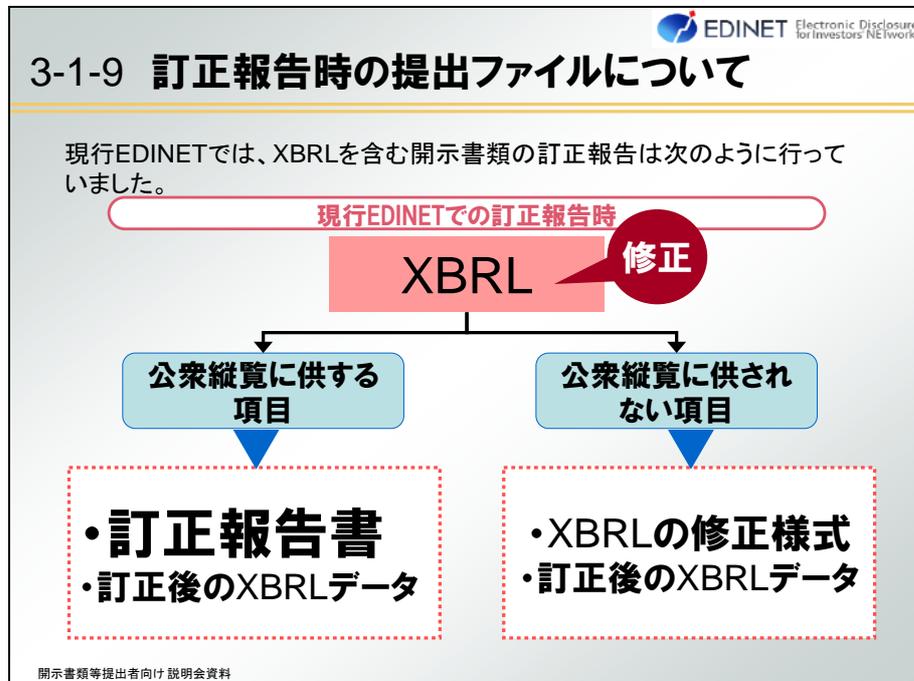
DEIの各項目における設定の必須又は任意の別は、様式ごとに異なります。

開示書類等提出者向け説明会資料

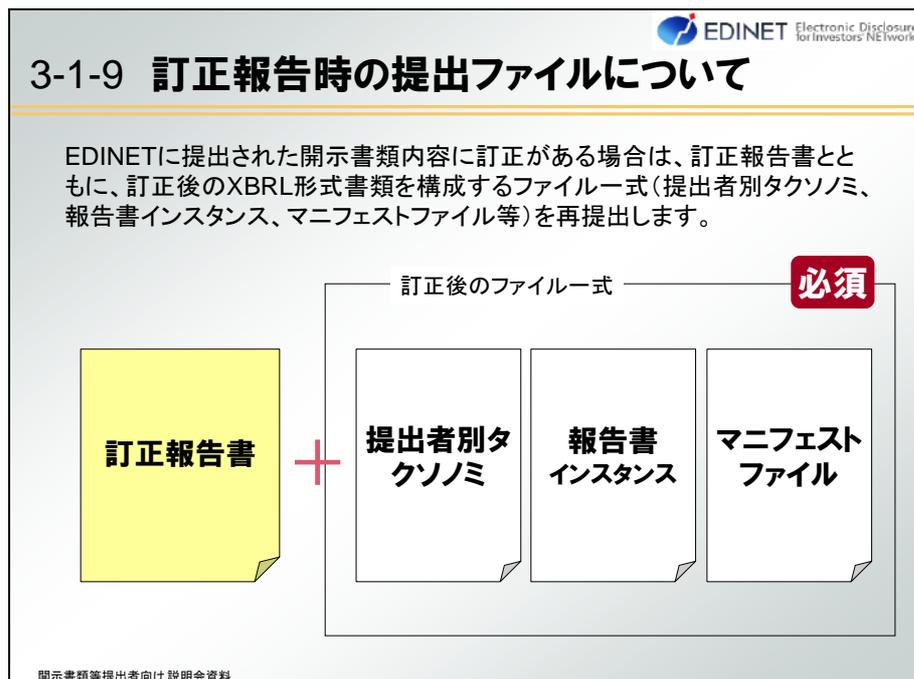
### 3-1-9 訂正報告時の提出ファイルの変更

訂正報告時の提出ファイルの変更について説明します。

現行 EDINET では、XBRL を含む開示書類の訂正報告は、次の図のように行っていました。



次世代 EDINET では、インライン XBRL 又は XBRL データに訂正がある場合、訂正報告書とともに訂正後の XBRL 形式書類を構成するファイル一式（提出者別タクソノミ、報告書インスタンス及びマニフェストファイル）を再提出します。また、訂正報告書は HTML で作成します。



また、次世代 EDINET では、本テキスト「付録 1 XBRL 対象様式」(p.84)にあるように、書類全体が XBRL 対象のものと、財務諸表本表のみが XBRL 対象のものとで、提出するものは同じです。訂正報告書とともに、訂正後の XBRL データの提出が必須となります。なお、財務諸表本表財務諸表本表のみが XBRL 対象で、財務諸表本表に訂正がない場合、XBRL データの提出は不要です。

	全体	本表	
訂正内容	インライン又は XBRL	インライン又は XBRL	訂正がない場合、インライン又はXBRL以外の場合
提出するもの	訂正報告書 + 訂正後の XBRLデータ一式	訂正報告書 + 訂正後の XBRLデータ一式	訂正報告書のみ

訂正報告書に添付するインライン XBRL の表紙の「提出書類」の名称は、下図のように、提出書類名に続けて、「(元号 GG 年 M 月 D 日付け訂正報告書の添付インライン XBRL)」と記載してください。

【表紙】	
【提出書類】	有価証券報告書(平成24年7月20日付け訂正報告書の添付インラインXBRL)
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2項1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年〇月〇日 ←当初提出日のままとし、修正しない
...	

表紙ファイルにある次の DEI 項目を修正してください。

DEI の項目		値
提出回数		数字 (例: 1→2)
訂正の有無		true
訂正対象書類の書類管理番号		英数字
訂正の種類	記載事項訂正のフラグ	どちらか一方を true
	XBRL 訂正のフラグ	

### Point 訂正の種類

記載事項に訂正がなく、要素の間違い等の場合は「XBRL 訂正のフラグ」を「true」にします。記載事項に訂正がある場合は「記載事項訂正のフラグ」を「true」にします。  
※両方が同時に「true」になることはありません。

また、ファイル名の提出回数を 1 ずつ増加させてください。

「EDINET コード」が「X99999」で有価証券報告書を提出していた場合を例に、訂正時のファイル名を説明します。

(初回提出時のファイル名)

000000\_header\_jpcrp030000-asr-001\_X99999-000\_2012-03-31\_01\_2012-06-28\_ixbrl.htm

↓

(訂正提出時のファイル名) ※太字部分の「提出回数」を 1 増加させます。

000000\_header\_jpcrp030000-asr-001\_X99999-000\_2012-03-31\_02\_2012-06-28\_ixbrl.htm

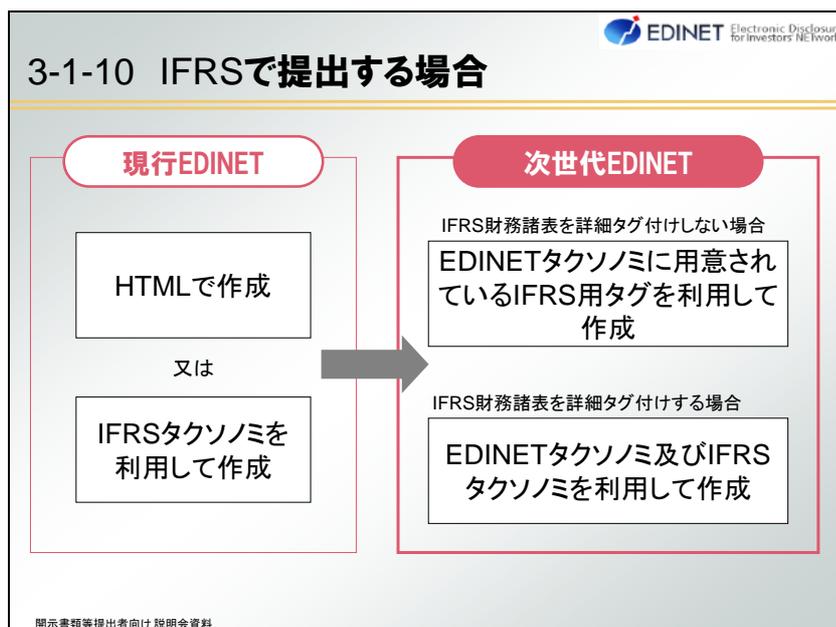
### Point 「XBRL の修正様式」の廃止

次世代 EDINET では、現行 EDINET で提供されている「XBRL の修正様式」(XBRL データに訂正があった場合に提出する様式)が廃止されます。

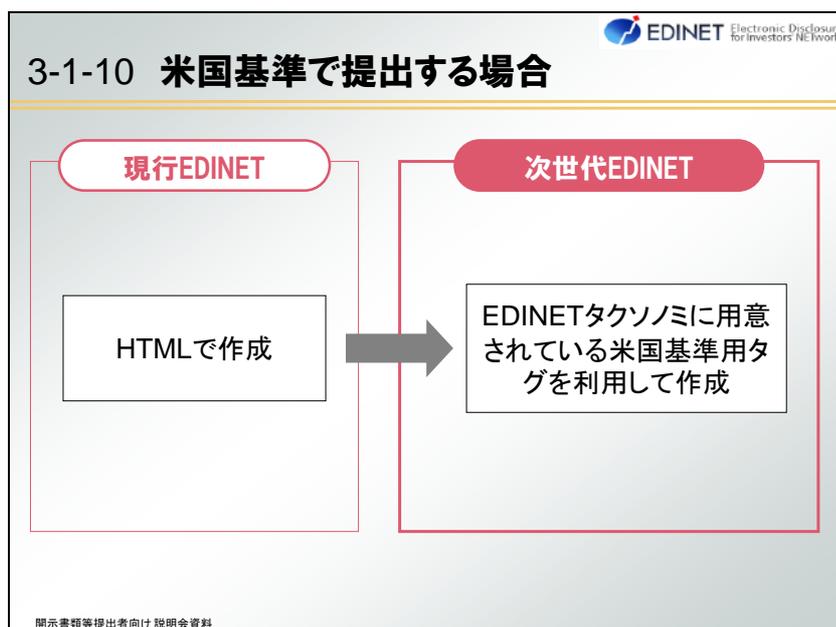
### 3-1-10 IFRS 又は米国基準での提出方法の変更

IFRS 又は米国基準で提出する場合について説明します。

現行 EDINET では、HTML で作成し提出していましたが、下図のように作成方法が変更されます。IFRS 財務諸表を詳細タグ付けする場合は、IFRS 財務諸表部分について IFRS タクソノミを用い、IFRS 財務諸表を詳細タグ付けしない場合は、IFRS 財務諸表部分について EDINET タクソノミの IFRS 用タグを利用します。



米国基準で提出する場合、米国基準財務諸表部分について EDINET タクソノミの米国基準用タグを利用します。



### 3-1-11 大量保有報告書のデータ形式の変更

大量保有報告書については、画面上で直接入力する Web 入力フォームが用意されています。利用方法は現行 EDINET と同じですが、データ形式が変わります。

 EDINET Electronic Disclosure for Investors' Network

## 3-1-11 大量保有報告書の作成

提出書類のデータ形式は変わりますが、利用方法は変わりません。

入力項目に変更があります。  
 詳しくは「大量保有報告書提出操作ガイド」を参照してください。

開示書類等提出者向け説明会資料

 EDINET Electronic Disclosure for Investors' Network

## 3-1-11 大量保有報告書のデータ形式

大量保有報告書は、データ形式がHTMLからXBRLに変わります。

# HTML 形式

➔

# XBRL 形式

開示書類等提出者向け説明会資料

次世代 EDINET の Web 入力フォームでは、訂正大量保有報告書も作成できます。

### 3-1-11 大量保有報告書の作成

Web入力フォームでは、訂正報告書を作成できるようになります。

【表紙】訂正報告書

【提出書類】	訂正報告書
【根拠条文】	法第27条の25第4項
【提出先】	関東財務局長
【氏名又は名称】	財務 太郎
【住所又は本店所在地】	東京都千代田区豊0-0-0
【報告義務発生日】	該当事項なし
【提出日】	年 月 日

開示書類等提出者向け 説明会資料

そのほかにも、Excel を利用して大量保有報告書を作成するツールが用意されています。現行 EDINET では提出書類データは HTML 形式でしたが、XBRL 形式に変わります。なお、本ツールで訂正報告書を作成することはできません。訂正報告書を作成する場合は、Web 入力フォームを利用してください。

### 3-1-11 大量保有報告書の作成

提出書類のデータ形式は変わりますが、利用方法は変わりません。

様式	第一号様式
DEI	
提出者-共同保有者情報	
提出者	EDINETコード E13455
	証券コード 6669
	氏名又は名称(日本語表記) 財務 太郎
	氏名又は名称(英語表記) Zaimu Taro
提出回数	1
報告書連番	1
提出者種別	個人(結合発行会社を除く)
訂正の有無	false
訂正対象書類の書類管理番号	
訂正の種類	
訂正事項訂正のフラグ	
XBRL訂正のフラグ	

開示書類等提出者向け 説明会資料

### 3-1-12 大量保有報告書以外の XBRL 作成ツールの導入

次世代 EDINET に提出する書類のうち、次の書類は XBRL 作成ツールが用意されています。



## 3-1-12 XBRL作成ツール

次の書類は、XBRL作成ツールを用いて、提出書類データを作成できます。

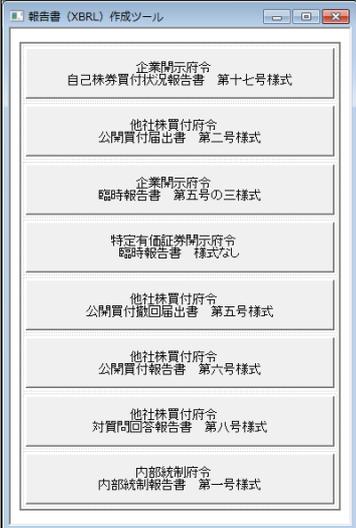
- (1) 企業開示府令 自己株券買付状況報告書 第十七号様式
- (2) 他社株買付府令 公開買付届出書 第二号様式
- (3) 企業開示府令 臨時報告書 第五号の三様式
- (4) 特定有価証券開示府令 臨時報告書 様式なし
- (5) 他社株買付府令 公開買付撤回届出書 第五号様式
- (6) 他社株買付府令 公開買付報告書 第六号様式
- (7) 他社株買付府令 対質問回答報告書 第八号様式
- (8) 内部統制府令 内部統制報告書 第一号様式

開示書類等提出者向け説明会資料

XBRL 作成ツールは、次世代 EDINET のトップページからダウンロードできます。本ツールを利用し、提出に必要なタクソノミファイル及びインスタンスファイルを自動生成することができます。



## 3-1-12 XBRL作成ツール



開示書類等提出者向け説明会資料

XBRL作成ツールは、EDINETのトップページからダウンロードできます。

**Point 1** 入力した内容を基に提出者別タクソノミ及び報告書インスタンスが自動生成されます。

**Point 2** EDINETへ提出するためのフォルダ構成を自動的に作成し、XBRLデータを格納します。

**Point 3** 作成されたXBRLデータを読み込み、修正することも可能です。

次の図にあるように、様式ごとに用意された入力項目に入力し、【報告書(XBRL)を保存】ボタンをクリックするだけです。

3-1-12 XBRL作成ツール

EDINET Electronic Disclosure for Investors Network

2 保存します

1 各項目を入力します

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成 25 年 1 月 20 日

【会社名】 エディネット株式会社

【英訳名】 EDINET Corporation

【代表者の役職氏名】 開示 正

【本店の所在の場所】 東京都千代田区蔵が間0-0-0

報告書(XBRL)を開く 報告書(XBRL)を保存

DEI 表紙 本文

開示書類等提出者向け説明会資料

## 3-2 次世代 EDINET への書類提出時の変更点

本節では、次の内容について説明します。

 **EDINET** Electronic Disclosure  
for Investors' Network

### 3-2 次世代EDINETへの書類提出時の変更点について

本節では、次の内容について説明します。

1. 提出書類様式選択画面の変更点
2. 提出書類詳細画面の変更点
3. 書類状況の表示内容の拡充
4. 通称の追加登録機能の新設
5. その他の変更点

開示書類等提出者向け説明会資料

### 3-2-1 提出書類様式選択画面の変更点

提出書類ヘッダを作成する際の「提出書類様式選択画面」では、利用する様式を選択する際に注意事項をよく確認し、選択してください。


**EDINET** Electronic Disclosure for Investors' Network

## 3-2-1 提出書類様式選択画面の変更点

**書類提出**

- ・ 提出書類新規作成
- ・ 提出書類作成一覧
- ・ 大量保有報告書の一括提出履歴
- ・ 提出書類一括再登録
- ・ 監査録・審判ファイルのアップロード状況
- ・ 承認済申請状況

② デビューに戻る

**提出書類様式選択画面**

企業内容等の開示に関する内閣府令  
提出しようとする書類の様式(号)を選択してください。

第3号様式 有価証券報告書

様式(号)	開示書類名	タケノコの適用条件 タケノコの組合せ
その他の注意事項		
第3号様式	有価証券報告書	平成22年10月1日以後に提出する場合は、こちらを選択してください。(平成22年9月30日公告)
第3号様式	有価証券報告書	2012年版(タケノコ二次開発適用版) 2012年度版企業内容等の開示に関する内閣府令タケノコ、DEIタケノコ及び財務諸表本表タケノコ
		次世代用様式です。
第3号様式	有価証券報告書	2012年版(タケノコ二次開発適用版) 2012年度版企業内容等の開示に関する内閣府令タケノコ、DEIタケノコ及び2011年版FRSタケノコ
		次世代用様式です。
第3号様式	有価証券報告書	
		次世代用様式です。

**提出書類様式選択画面が変更されました。様式を選択する際に注意事項を確認し、選択するようにします。**

### 3-2-2 提出書類詳細画面の変更点

次世代 EDINET では、提出書類の本登録前に、提出書類の PDF ファイルを確認できる画面を新設しました。

### 3-2-2 提出書類詳細画面の変更点

開示書類等提出者向け説明会資料

### 3-2-2 提出書類PDF確認

提出書類を本登録前にPDFファイルで確認できます。  
PDFファイルの右上に「ドラフト版」と表示されます。

### 3-2-3 書類状況の表示内容の拡充

次世代 EDINET では書類状況を確認する画面で、「タグ付け確認」及び「XBRL 取得」が追加されます。

**3-2-3 書類状況の表示内容の拡充**

EDINET Electronic Disclosure for Investors' Network

提出書類作成一覧画面

提出書類	書類管理番号	書類状況	ファンコード
意見表明報告書	S1000475	作成中	
有価証券届出書	S10003MS	提出済(開示中)	
発行登録書	S1000467	作成中	
半期報告書 - 第52期 (平成22年4月1日 - 平成24年3月31日)	S100043H	作成中	
大量保有報告書	S10003XT	作成中	
公開買付届出書	S10003XD	作成中	
有価証券届出書	S10003AS	作成中	
有価証券報告書 - 第52期 (平成22年4月1日 - 平成24年3月31日)	S10003A0	提出済(開示中)	
大量保有報告書	S1000306	作成中	

検索結果: 11件中 (1~10 表示)

※共同保有の連名提出 又は 共同買付で別の提出者が代表者が登録になっています。

開示書類等提出者向け説明会資料

Callouts (New features):

- タグ付け確認 (New)
- 内容確認
- ログ表示
- XBRL取得 (New)
- HTML取得

#### ▶ -操作- 書類状況の確認

(1) [提出者用メニュー画面]から、「書類提出」をクリックします。

EDINET Electronic Disclosure for Investors' Network

提出者用メニュー画面

- 書類提出
- 公告提出
- 提出者情報管理

お知らせ

- 財務局等への情報提供等について
- (別紙)財務局等連絡先

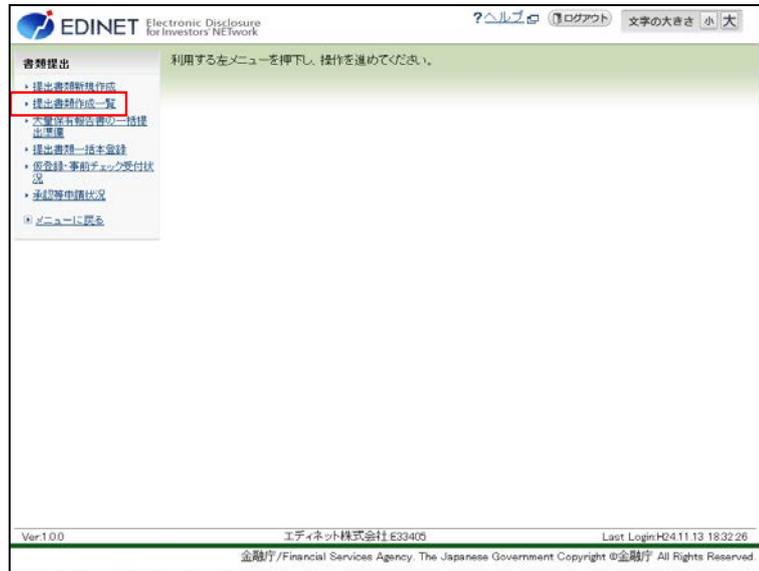
メール一覧

EDINETシステムより次のメールを送信しております。  
 届いていないメールがある場合、財務局等までお問い合わせください。

過去1か月 0件のメールを送信しております。

Var:1.0.0 エディネット株式会社 E33405 Last Login:04/10/22 17:13:54  
 金融庁/Financial Services Agency. The Japanese Government Copyright ©金融庁 All Rights Reserved.

- (2) [書類提出メニュー画面]が表示されます。  
画面左側のメニューから「提出書類作成一覧」をクリックします。



- (3) [提出書類作成一覧画面]が表示されます。  
書類状況を確認する提出書類の「書類状況名」をクリックします。



(4) [書類状況確認画面]が表示されます。

「書類状態」を確認し、画面下側にある【タグ付け確認】ボタン、【内容確認】ボタン、【ログ表示】ボタン、【XBRL取得】ボタンのいずれかをクリックします。

※表示されるボタンは作成された書類及びその書類状況によって異なります。



(5) 【タグ付け確認】ボタンをクリックした場合

### 3-2-3 タグ付け確認

タグ付け確認
内容確認
ログ表示
XBRL取得
戻る

タグ付け内容のダウンロード

要素名	日本語標準ラベル	英語名	日本語標準ラベル	英語名
1 jcorp_cor.DocumentTitleCoverPage	有価証券報告書	提出書類	FilingDateInstant	提出書類、表紙
2 jcorp_cor.ClauseOfStipulationCoverPage	金融商品取引法第24条第1項	根拠条文	FilingDateInstant	根拠条文、表紙
3 jcorp_cor.PlaceOfFilingCoverPage	関東財務局長	提出先	FilingDateInstant	提出先、表紙
4 jcorp_cor.FilingDateCoverPage	平成24年11月8日	提出日	FilingDateInstant	提出日、表紙
5 jcorp_cor.FiscalYearCoverPage	第108期(自 平成23年4月1日)	事業年度	FilingDateInstant	事業年度、表紙
6 jcorp_cor.CompanyNameCoverPage	エディネット株式会社	会社名	FilingDateInstant	会社名、表紙
7 jcorp_cor.CompanyNameInEnglishCoverPage	EDINET Co.Ltd.	英訳名	FilingDateInstant	英訳名、表紙
8 jcorp_cor.TitleAndNameOfRepresentative	代表取締役社長 開示 正	代表者の役職氏名	FilingDateInstant	代表者の役職氏名、表紙
9 jcorp_cor.AddressOfRegisteredHeadquarter	東京都千代田区霞が関0-0-	本店の所在の場所	FilingDateInstant	本店の所在の場所、表紙
10 jcorp_cor.TelephoneNumberAddressOfRegisteredHeadquarter	03(1111)1111(代表)	電話番号	FilingDateInstant	電話番号、本店の所在の場所、表紙
11 jcorp_cor.NameOfContactPersonAddressOfRegisteredHeadquarter	財務部長 開示 二郎	事務連絡者氏名	FilingDateInstant	事務連絡者氏名、本店の所在の場所、表紙
12 jcorp_cor.PlaceOfContactPersonAddressOfRegisteredHeadquarter	東京都千代田区霞が関0-0-	最寄りの連絡場所	FilingDateInstant	最寄りの連絡場所、表紙

各要素に設定された値とタグ付け内容を、csv形式のファイルでダウンロードできます。



**Point** ログ表示について

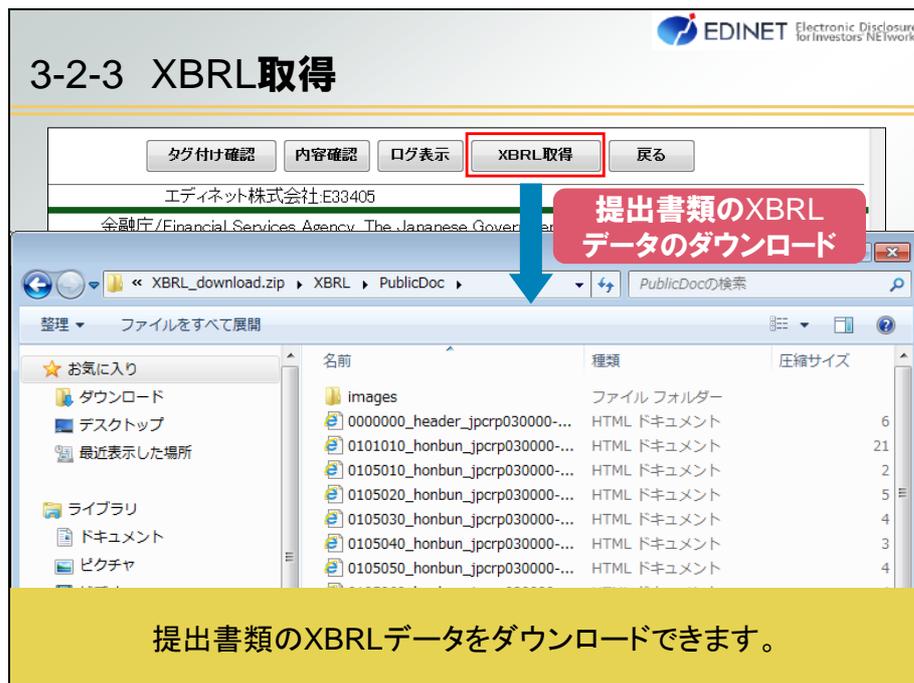
ログ表示画面には、次の表のとおりチェック結果の種別が表示されます。

チェック結果での表示	種別	説明
ERROR	エラー	データにエラーが発生していることを表します。書類提出できません。内容を見直し、修正後再度アップロードします。
SERIOUS WARNING	重大な警告	データに重大な警告が発生していることを表します。書類提出できます。修正せずに提出した場合は、次世代 EDINET での書類比較機能の対象外となります。
WARNING	警告	データに警告が発生していることを表します。書類提出できます。
REMINDER	注意喚起	データに注意喚起が発生していることを表します。書類提出できます。データ内容が正常であっても、例外と識別され、注意喚起が表示される場合があります。

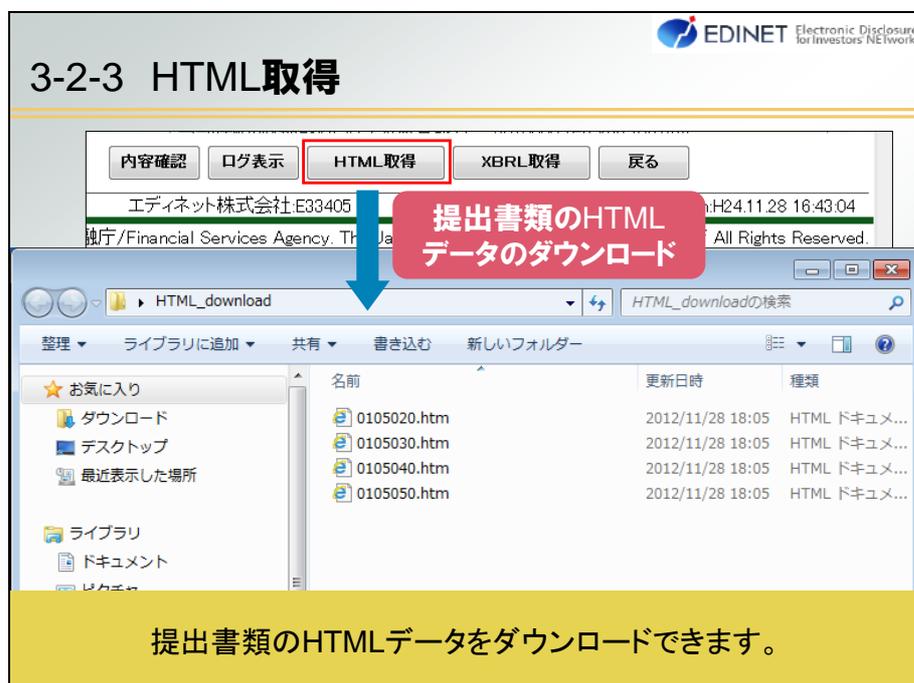
**Point** ログ表示画面とバリデーションメッセージ一覧

次世代 EDINET での提出書類チェック結果を[ログ表示画面]で確認できます。事前チェックエラーになった場合は、本画面でエラー内容を確認してください。表示される「ERROR」、「WARNING」等の対処方法については、操作ガイド「バリデーションメッセージ一覧」で確認できます。

(8) 【XBRL 取得】 ボタンをクリックした場合



(9) 【HTML 取得】 ボタンをクリックした場合



### 3-2-4 通称の追加登録機能の新設

通称を追加する場合は、提出者情報管理メニューから行います。  
通称の追加が可能な提出者種別は「内国会社」及び「外国会社」のみです。

#### ▶ -操作- 提出者情報の変更

(1) [提出者用メニュー画面]から、「提出者情報管理」をクリックします。



(2) [提出者情報管理メニュー]が表示されます。

「提出者情報管理」の「情報照会・変更」をクリックします。



(3) [提出者情報詳細画面]が表示されます。

【変更】ボタンをクリックします。

提出者情報詳細画面	
最新の提出者情報は次のとおりです。	
EDINETコード	E33405
提出者種別	内国法人・組合
生年月日/設立日	昭和5年3月1日
上場区分	上場
証券コード	69555
提出者業種	電気機器
連結の有無	有
資本金	8,000百万円
決算日	3月31日
提出者名	エディネット株式会社
提出者名(英字)	EDINET Co.Ltd.
提出者名(ヨミ)	エディネットカブシキガイシャ
代表者役職	代表取締役
代表者氏名	開示 正
郵便番号	000-0000
本店所在地 又は所在地	東京都千代田区蔵が間0-0-0
電話番号	03-1111-1111
<b>変更</b>	

(4) [提出者情報変更入力画面]が表示されます。

「通称」に通称名を入力し、【変更】ボタンをクリックします。

提出者情報変更入力画面		
提出者情報を変更し、「変更」を押下してください。		
■印は入力必須項目です。		
■ 通称	登録防止のため、E-Mailアドレスを再入力してください。	
■ 関東財務局提出時の希望	管轄区域: 東京都	管轄区域: 東京都 ○丸にま本局
通称		
変更届出日	平成 24 年 10 月 23 日	
<b>変更</b> 戻る		

### Point 通称の追加

通称は、10個まで追加できます。

通称名に「#(シャープ)」及び「;(セミコロン)」は使用できません。

- (5) [提出者情報変更確認画面]が表示されます。  
 内容を確認し、【変更実行】ボタンをクリックします。



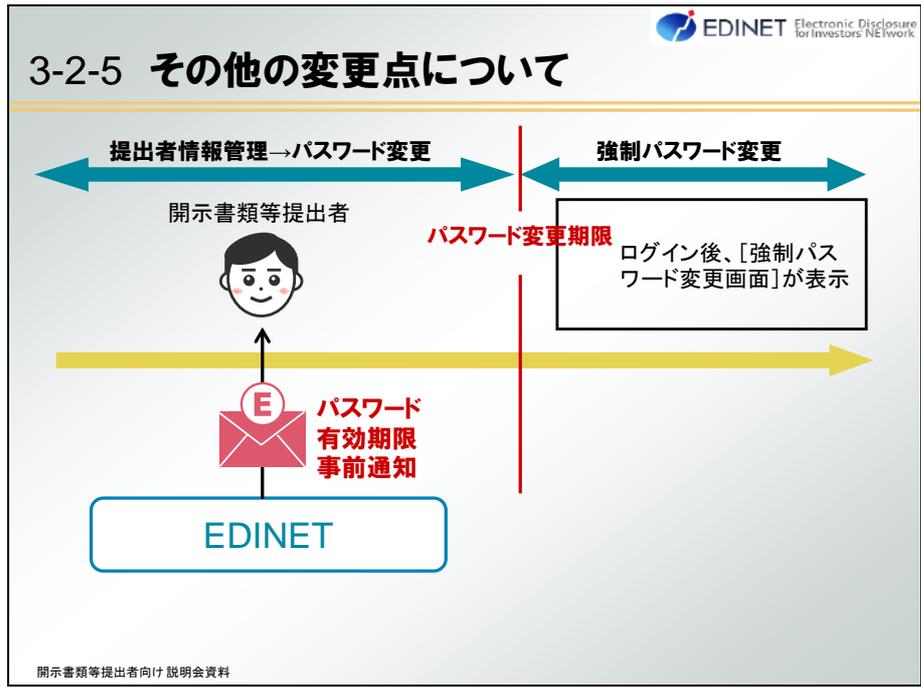
- (6) [提出者情報変更完了画面]が表示されます。  
 通称の追加が完了しました。



### 3-2-5 その他の変更点

その他の変更点について説明します。

パスワードの有効期限（300日）が到来する14日前に、EDINETから「パスワード有効期限事前通知メール」が自動送信されます。メールを受信した場合は、「提出者情報管理」メニューから「パスワード変更」を選択してパスワードを変更してください。なお、変更期限までにパスワード変更ができなかった場合は、変更期限後にEDINETへログインした時点で「強制パスワード変更画面」が表示され、パスワードの変更作業を行います。



そのほか、提出書類が仮登録済みとなると、次の図のように、提出書類のPDF確認、提出書類のチェックログの確認などが可能となります。提出書類の本登録前にはログ確認及び内容確認が必須となります。





# 付録

# 付録 1 XBRL 対象様式

XBRL の対象となる書類及び関連する府令、規則等は、次のとおりです。  
また、表の「XBRL 対象」欄の見方は、次のとおりです。

XBRL 欄		見方
全体	本表	
○		提出書類全体をタグ付けする様式(ただし、財務諸表本表はなし。)
	○	財務諸表本表のみにタグ付けする様式。
○	○	提出書類全体をタグ付けする様式。 (財務諸表本表及び独立監査人の報告書もタグ付けする。)

## ■ 開示府令

No	書類種別	様式番号	備考	XBRL 対象	
				全体	本表
1	有価証券届出書	第二号様式	(通常方式)	○	○
2	有価証券届出書	第二号の二様式	(組込方式)	○	
3	有価証券届出書	第二号の三様式	(参照方式)	○	
4	有価証券届出書	第二号の四様式	(新規公開時)	○	○
5	有価証券届出書	第二号の五様式	(少額募集等)	○	○
6	有価証券届出書	第二号の六様式	(組織再編成)	○	○
7	有価証券届出書	第二号の七様式	(組織再編成・上場)	○	○
8	有価証券報告書	第三号様式	(通常方式)	○	○
9	有価証券報告書	第三号の二様式	(少額募集等)	○	○
10	有価証券報告書	第四号様式	(法 24 条 3 項に基づくもの)	○	○
11	四半期報告書	第四号の三様式		○	○
12	半期報告書	第五号様式	(通常方式)	○	○
13	半期報告書	第五号の二様式	(少額募集等)	○	○
14	臨時報告書	第五号の三様式		○	
15	有価証券届出書	第七号様式	外国会社(通常方式) ※		○
16	有価証券届出書	第七号の四様式	外国会社(組織再編成) ※		○
17	有価証券報告書	第八号様式	外国会社※		○
18	有価証券報告書	第九号様式	外国会社※		○
19	四半期報告書	第九号の三様式	外国会社※		○
20	半期報告書	第十号様式	外国会社※		○
21	発行登録書	第十一号様式	(株券、社債券等)	○	

No	書類種別	様式番号	備考	XBRL 対象	
				全体	本表
22	発行登録書	第十一号の二様式	(CP)	○	
23	発行登録書	第十一号の二の二様式	(短期社債)	○	
24	発行登録追補書類	第十二号様式	(株券、社債券等)	○	
25	発行登録追補書類	第十二号の二様式	(CP)	○	
26	自己株券買付状況報告書	第十七号様式	(法 24 条の 6 第 1 項に基づくもの)	○	

※ 日本基準の財務諸表本表に限る。

## ■ 特定有価証券開示府令

No	書類種別	様式番号	備考	XBRL 対象	
				全体	本表
1	有価証券届出書	第四号様式	(内国投資信託受益証券)	○	○
2	有価証券届出書	第四号の三様式	(内国投資証券)	○	○
3	有価証券届出書	第四号の三の二様式	(組込方式・内国投資証券)	○	
4	有価証券届出書	第四号の三の三様式	(参照方式・内国投資証券)	○	
5	有価証券届出書	第五号の二様式	(内国資産流動化証券)		○
6	有価証券届出書	第五号の四様式	(内国資産信託流動化受益証券)		○
7	有価証券届出書	第六号様式	(内国信託受益証券等)		○
8	有価証券届出書	第六号の五様式	(内国有価証券投資事業権利等)		○
9	有価証券報告書	第七号様式	(内国投資信託受益証券)	○	○
10	有価証券報告書	第七号の三様式	(内国投資証券)	○	○
11	有価証券報告書	第八号の二様式	(内国資産流動化証券)		○
12	有価証券報告書	第八号の四様式	(内国資産信託流動化受益証券)		○
13	有価証券報告書	第九号様式	(内国信託受益証券等)		○
14	有価証券報告書	第九号の五様式	(内国有価証券投資事業権利等)		○

No	書類種別	様式番号	備考	XBRL 対象	
				全体	本表
15	半期報告書	第十号様式	(内国投資信託受益証券)	○	○
16	半期報告書	第十号の三様式	(内国投資証券)	○	○
17	半期報告書	第十一号の二様式	(内国資産流動化証券)		○
18	半期報告書	第十一号の四様式	(内国資産信託流動化受益証券)		○
19	半期報告書	第十二号様式	(内国信託受益証券等)		○
20	半期報告書	第十二号の五様式	(内国所有証券投資事業権利等)		○
21	発行登録書	第十五号様式	(内国投資証券)	○	
22	発行登録書	第十五号の三様式	(内国短期投資法人債)	○	
23	発行登録追補書類	第二十一号様式	(内国投資証券)	○	
24	臨時報告書	様式なし	(内国特定有価証券)	○	

(注) 外国特定有価証券は、XBRL 対象外です。

#### ■ 他社株買付府令

No	書類種別	様式番号	備考	XBRL 対象	
				全体	本表
1	公開買付届出書	第二号様式		○	
2	意見表明報告書	第四号様式		○	
3	公開買付撤回届出書	第五号様式		○	
4	公開買付報告書	第六号様式		○	
5	対質問回答報告書	第八号様式		○	

#### ■ 自社株買付府令

No	書類種別	様式番号	備考	XBRL 対象	
				全体	本表
1	公開買付届出書	第二号様式		○	
2	公開買付撤回届出書	第三号様式		○	
3	公開買付報告書	第四号様式		○	

### ■ 大量保有府令

No	書類種別	様式番号	備考	XBRL 対象	
				全体	本表
1	大量保有報告書	第一号様式	変更報告書を含む	○	
2	大量保有報告書	第一号及び第二号様式	短期大量譲渡	○	
3	大量保有報告書	第三号様式	特例対象株券等	○	

### ■ 内部統制府令

No	書類種別	様式番号	備考	XBRL 対象	
				全体	本表
1	内部統制報告書	第一号様式		○	



---

次世代 EDINET 研修テキスト  
現行 EDINET から次世代 EDINET への主な変更点  
(開示書類等提出者向け)

2013 年 4 月 発行

---